Nikon

スピードライト

SB-910

使用説明書

Jp

SB-910と使用説明書について

このたびはニコンSB-910をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。
お使いになる前に、この「使用説明書」をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

知りたいことの探し方

目次から (A-11)
操作方法、発光モード、撮影機能など、項目別に探せます。

目的別かんたん検索から (A-9)
名称や用語が分からなくても、使いたいことや知りたいことから探せます。

索引から (H-21)
英数字、五十音順の索引から探せます。

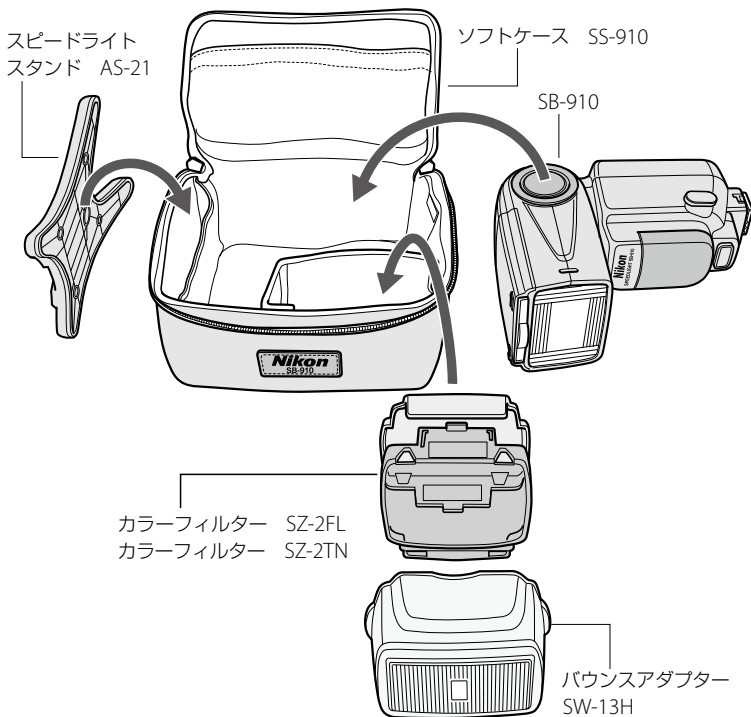
故障かな?と思ったらから (H-1)
動作がおかしいときや警告表示が出たときに役立ちます。

⚠ 安全上のご注意

安全にスピードライトをお使いいただくために守っていただきたい内容が記載されています。スピードライトをお使いになる前に必ずお読みください。詳しくはA-14～A-18をご覧ください。

付属品をご確認ください

SB-910と次の付属品がすべてそろっていることを確認してください。
万一、不足のものがありましたら、ご購入店にご連絡ください。

- ❑ スピードライトスタンド　AS-21
- ❑ バウンスアダプター　SW-13H
- ❑ カラーフィルター　SZ-2FL（蛍光灯用）
- ❑ カラーフィルター　SZ-2TN（電球用）
- ❑ ソフトケース　SS-910
- ❑ 使用説明書（本書）
- ❑ 作例集
- ❑ 保証書
- ❑ 登録のご案内

SB-910と使用説明書について

SB-910について

SB-910は、ニコンクリエイティブライティングシステム（CLS）対応のカメラとの組み合わせに最適化された、ガイドナンバー34（ISO 100・m）/48（ISO 200・m）（照射角35mm、FXフォーマット、スタンダード配光時、20℃）の高性能スピードライトです。

CLS対応カメラ

FXフォーマット/DXフォーマットのニコンデジタル一眼レフカメラ（D1シリーズ、D100を除く）、F6、ニコンデジタルカメラCOOLPIX（P7100、P7000、P6000）

使用説明書について

この「使用説明書」は、SB-910とCLS対応カメラ、CPUレンズ（🕮A-5）との組み合わせを前提に説明しています。
ご使用の前に使用説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。

- CLS非対応一眼レフカメラとの組み合わせについては「CLS非対応一眼レフカメラ使用時」（🕮F-1）をご覧ください。
- i-TTL対応ニコンデジタルカメラCOOLPIX（P5100、P5000、E8800、E8400）との組み合わせについては「ニコン クールピクスとの組み合わせについて」（🕮G-1）をご覧ください。
- 別冊の「作例集」はSB-910の機能を生かして撮影した作例写真とライティングについて説明しています。
- カメラの機能や設定については、お使いのカメラの使用説明書をご覧ください。

本文中のマークについて

- ✔ 製品の故障や撮影の失敗を防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
- 🖉 製品を使用する際に知っておいていただきたいこと、便利な情報やヒントを記載しています。
- 🕮 使用説明書上で関連情報が記載されているページです。

CPUレンズの見分け方

CPUレンズにはCPU信号接点があります。

- IXニッコールレンズとの組み合わせでは使用できません。

使用説明書の取り扱いについて

- この使用説明書および作例集の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書のPDFファイルをダウンロードできます。
  http://www.nikon-image.com/support/manual/
- ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

用語と表記について

■ 初期設定

ご購入時に設定されている機能やモードの設定状態です。

■ ニコンクリエイティブライティングシステム（CLS）

ニコンのスピードライトとカメラの先進的なデータ通信方式により、さまざまなスピードライト撮影機能を可能にしたシステムです。

■ 配光タイプ

画面中央と周辺の光量差の制御タイプ。スタンダード配光、均質配光、中央部重点配光の3タイプが選択できます。

■ FX/DXフォーマット（撮像範囲）

ニコンカメラの撮影画面サイズ。FXフォーマット（36×24）とDXフォーマット（24×16）の2つがあります。

■ ガイドナンバー（GN）

スピードライトの発光量を示す値。GN＝スピードライトから被写体までの距離（m）×絞り値（F）で表わします（ISO 100の場合）。

■ 照射角

スピードライトの光が照射される角度です。

■ 調光距離

スピードライトの光で適正露出が得られる、スピードライトから被写体までの距離です。

■ 調光範囲

調光距離の範囲です。

■ 調光補正

スピードライトの発光量を意図的に変えて、主要被写体の明るさを変えることをいいます。

■ i-TTL調光モード

モニター発光を行って被写体からの反射光をカメラが測光して、スピードライトの発光を制御します。

モニター発光

被写体からの反射光を測光するために、本発光の直前に行われる極めて短時間の発光です。通常、本発光と区別して目視することはできません。

バランス調光（i-TTL-BL調光）

被写体と背景光のバランスを考慮して発光量を制御します。

スタンダードi-TTL調光

背景光を考慮せず､主要被写体が基準露光量になるように発光量を制御します。

■ 絞り連動外部自動調光モード

スピードライトの発光による被写体からの反射光をスピードライトが測光し、カメラからの情報を加えて発光量を制御します。

■ 外部自動調光モード

スピードライトの発光による被写体からの反射光をスピードライトが測光し、発光量を制御します。

■ 距離優先マニュアル発光モード

スピードライトから被写体までの距離を設定すれば、カメラの設定に合わせて適正な発光量をスピードライトが自動的に設定するマニュアル発光モードです。

■ マニュアル発光モード

撮影者が任意の発光量と絞り値の組み合わせで露出を設定できる発光モードです。

■ リピーティングフラッシュモード

シャッターが開いている間、スピードライトが連続発光して、1コマの画面に被写体の連続的な動きを写し込める発光モードです。

■ 1段

シャッタースピードや絞り値の変化量の単位。1段変化すると、カメラが取り込む光の量は2倍、または1/2になります。

■ EV（Exposure Value：露出値）

シャッタースピードや絞り値が1段変化すると、1EV変化します。

■ ワイヤレス増灯撮影

ワイヤレスで複数のスピードライトを同時発光させる撮影です。

マスターフラッシュ（主灯）

増灯撮影時に、リモートフラッシュに指示を送るスピードライトです。

リモートフラッシュ（補助灯）

マスターフラッシュからの指示を受けて発光するスピードライトです。

アドバンストワイヤレスライティング撮影

CLS対応のワイヤレス増灯撮影。マスターフラッシュから複数のリモートフラッシュのグループの発光を制御できます。

SU-4タイプのワイヤレス増灯撮影

モニター発光しないため、マスターフラッシュとリモートフラッシュの発光にタイムラグがほとんどなく、特に動きが速い被写体に適しているワイヤレス増灯撮影です。

目的別かんたん検索

使いたいことや知りたいことから、記載ページを簡単に探せます。

撮影について -1（SB-910 をカメラのアクセサリーシューに接続して使用する）

使いたいこと・知りたいこと	キーワード	📖
発光モードを知りたい	発光モード	C-1
いちばん簡単な手順で撮影したい	撮影の基本ステップ	B-6
横に並んだ大勢の人の記念写真を撮りたい	均質配光	E-2
人物が引き立つポートレートを撮りたい	中央部重点配光	E-2
後ろの壁に映る影を消して撮影したい	バウンス撮影	E-4
ライティング状態を確認してから撮影したい	モデリング発光	E-22
主要な被写体を明るく（暗く）して撮影したい	調光補正	E-18
蛍光灯や電球の影響を緩和して撮影したい	カラーフィルター	E-12
スピードライトの光に色をつけて撮影したい	カラーフィルター	E-12
暗い被写体をオートフォーカスで撮りたい	AF 補助光	E-20
人物と背景の夜景の両方をきれいに撮りたい	スローシンクロ（スローシャッター）撮影	E-24
人物の瞳が赤くならないように撮影したい	赤目軽減発光撮影	E-25
連続した動きを分解写真のように写したい	リピーティングフラッシュモード	C-16
CLS に対応していない一眼レフカメラと組み合わせて使いたい	CLS 非対応一眼レフカメラ使用時	F-1
ニコン クールピクスと組み合わせて使いたい	ニコン クールピクスとの組み合わせ	G-1

撮影について -2（SB-910 をワイヤレスで使用する）

使いたいこと・知りたいこと	キーワード	📖
複数のスピードライトを使って撮影したい	アドバンストワイヤレスライティング	D-1
動きが速いものをワイヤレス増灯撮影したい	SU-4 タイプ	D-10
ワイヤレス増灯撮影ができるニコン クールピクスと組み合わせて使いたい	CLS 対応ニコン クールピクス	G-1

設定や操作について

使いたいこと・知りたいこと	キーワード	🕮
使用できる電池を知りたい	使用できる電池	B-7
電池別の発光間隔や発光回数を知りたい	電池別の発光間隔と発光回数	H-20
各種の設定の変更方法（カスタムメニュー）を知りたい	カスタムメニュー	B-13
いろいろな設定をリセットしたい	ツーボタンリセット	B-12
操作ボタンが不用意に押されて誤作動するのを防ぎたい	キーロック	B-4
ファームウェアをバージョンアップしたい	ファームアップの方法	H-9

目次

A お使いになる前に

B 操作方法

C 発光モード

D ワイヤレス増灯撮影

H

使用上のご注意・資料

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は、次のようになっています。

⚠	**危険**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
⚠	**警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠	**注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例	
	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合は電池を取り出す）が描かれています。

⚠**危険** スピードライトについて	
⚠ 危険	電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。
⚠ 危険	電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠ 警告 スピードライトについて		
	分解禁止	**分解したり修理・改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
	接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、販売店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
	電池を取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。 電池を抜いて、販売店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
	水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
	禁止	**引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。
	発光禁止	**車の運転者等にむけてスピードライトを発光しないこと** 事故の原因となります。
	発光禁止	**スピードライトを人の目に近づけて発光しないこと** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。
	発光禁止	**発光部を人体やものに密着させて発光させないこと** やけどや発火の原因となります。
	保管注意	**幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
	警告	**使用説明書に表示された電池を使用すること** 正しい電池を使用しないと、液もれ、破裂、発火の原因となります。
	禁止	**新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池をまぜて使用しないこと** 液もれ、破裂、発火の原因となります。
	禁止	**マンガン乾電池、アルカリ電池、リチウム電池は非充電式電池ですので、充電しないこと** 液もれ、破裂、発火の原因となります。
	危険	**ニッケル水素電池などの充電式電池の充電は、メーカー指定の充電器で、付属の注意事項を守って行うこと** **「+」「−」を逆にしての逆充電、電池が熱いままの充電はしないこと** 破裂、発火、液もれの原因となります。

⚠注 意 スピードライトについて		
	感電注意	ぬれた手でさわらないこと 感電の原因になることがあります。
	保管注意	製品は幼児の手の届かない所に置くこと なめて感電したり、ケガの原因となることがあります。
	注意	強い衝撃を与えないこと 内部が故障し、破裂、発火の原因になることがあります。
	溶剤清掃禁止	シンナーやベンジンなどの有機溶剤を使ってふかないこと 防虫スプレーの液剤を製品に吹きつけないこと また、ナフタリン、樟脳の入った場所に保管しないこと プラスチックケースが割れて火災や感電の原因となることがあります。
	電池を取る	保管するときには電池を外すこと 発火、液もれの原因となることがあります。

⚠危 険 電池について		
	危険	電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠危 険 ニッケル水素充電池について		
	禁止	電池を火に入れたり、加熱しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
	分解禁止	電池をショート、分解しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
	禁止	新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池をまぜて使用しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
	警告	電池の「＋」と「－」の向きを間違えないようにすること 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
	危険	専用充電器を使用すること 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
	危険	ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり保管しないこと ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。
	危険	電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠警告 電池について	
警告	電池に表示された警告・注意を守ること 液もれ、発熱、発火の原因となります。
警告	使用説明書に表示された電池を使用すること 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	外装チューブをはがしたり、キズをつけないこと また、外装チューブがはがれたり、キズがついている電池は絶対に使用しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
保管注意	電池は幼児の手の届かないところに置くこと 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
水かけ禁止	水につけたり、濡らさないこと 液もれ、発熱の原因となります。

⚠警告 ニッケル水素充電池について	
使用禁止	変色・変形、その他、今までと異なることに気づいたときは使用しないこと 液もれ、発熱の原因となります。
警告	充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること 液もれ、発熱の原因となります。
警告	電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。 お住まいの自治体の規則に従って、正しく廃棄してください。

⚠警告 リチウム電池、アルカリ電池について	
禁止	電池を火に入れたり、加熱しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	電池をショート、分解しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
禁止	新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池をまぜて使用しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	電池の「+」と「−」の向きを間違えないようにすること 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

安全上のご注意

⚠警告 リチウム電池、アルカリ電池について	
禁止	**充電式電池以外は、充電しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。 お住まいの自治体の規則に従って、正しく廃棄してください。

⚠警告 アルカリ電池について	
電池を取る	**使い切った電池はすぐに器具から取り出すこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠注意 電池について	
注意	**連続発光後は電池の発熱に注意すること** 電池が発熱していて、やけどの原因となります。電池を交換する際には、注意してください。

⚠注意 ニッケル水素充電池について	
注意	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

ご確認ください

保証書について

本製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1 年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録ができます。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載されている登録コードをご用意ください。

カスタマーサポート

下記のホームページで、サポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/support/

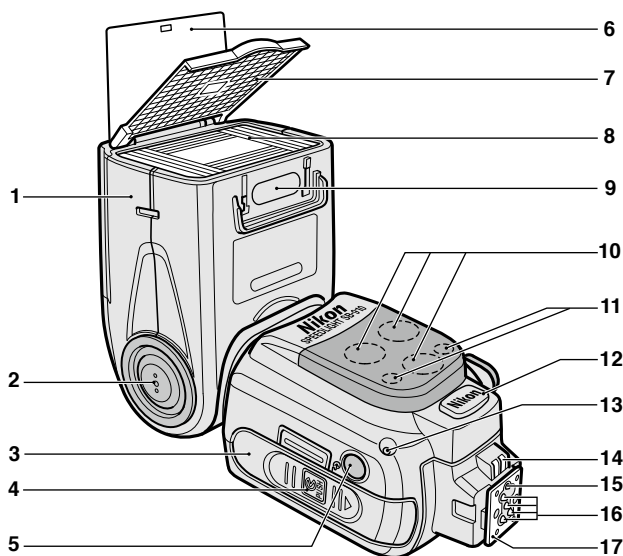
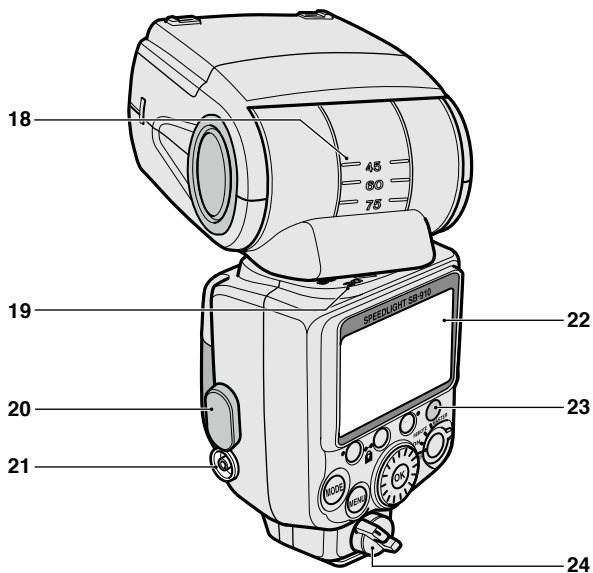
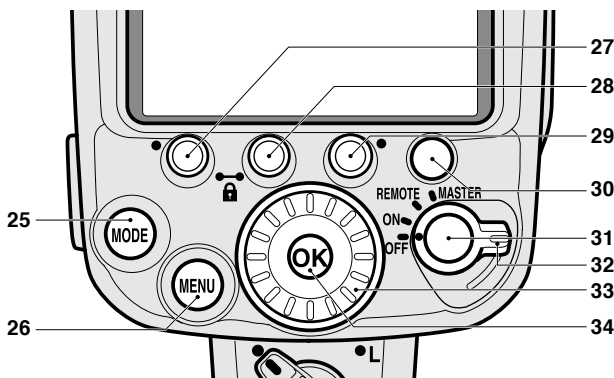
大切な撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてスピードライトが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

本製品を安心してお使いいただくために

本製品は、当社製のカメラ及びアクセサリーに適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

・他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、本製品の充分な性能が発揮できないほか、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

各部の名称

1. フラッシュヘッド
2. フラッシュヘッドロック解除ボタン（📖B-9）
3. 電池ぶた
4. 電池ぶたロック解除ボタン（📖B-6）
5. ワイヤレスリモートセンサー窓（📖D-15）
6. キャッチライト反射板（📖E-8）
7. ワイドパネル（📖E-10）
8. 発光パネル
9. カラーフィルター識別センサー（📖E-15）
10. AF補助光（📖E-20）
11. レディーライト（リモートモード時）（📖D-18）
12. 外部電源コネクター（キャップ付き）（📖H-11）
13. 外部自動調光用センサー窓（📖C-4、C-7）
14. 外部AF補助光接点
15. ロックピン
16. カメラ連動接点
17. 取付け脚

18. フラッシュヘッド上下回転角度目盛（📖E-4）
19. フラッシュヘッド左右回転角度目盛（📖E-4）
20. シンクロターミナルキャップ
21. シンクロターミナル
22. 表示パネル（📖B-12）
23. レディーライト（📖B-11、D-18）
24. ロックレバー（📖B-8）

25. [MODE] ボタン
発光モードを切り換えます。
(□B-11)

26. [MENU] ボタン
カスタムメニュー画面を表示します。
(□B-13)

27. ファンクションボタン 1

28. ファンクションボタン 2

29. ファンクションボタン 3
- 変更したい項目を選択します。
- 各ボタンに割り当てられる機能は、発光モードや設定状態によって異なります。(□B-5)

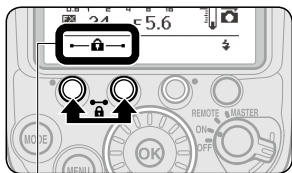
30. テスト発光ボタン
- テスト発光(□E-21)、またはモデリング発光(□E-22)ができます。
- テスト発光/モデリング発光の切り換えはカスタムメニューで設定します。(□B-18)

31. ロック解除ボタン
ワイヤレス増灯モードを設定する際は、このボタンを押しながらスイッチを回します。(□D-4、D-5)

32. 電源スイッチ / ワイヤレス増灯モードスイッチ
- 電源のON/OFFを設定します。
- ワイヤレス増灯撮影時のマスターモード/リモートモードを設定します。(□D-4、D-5)

33. セレクターダイヤル
反転表示された項目の設定を変更します。(□B-12)

34. [OK] ボタン
選択した設定を確定します。
(□B-12)

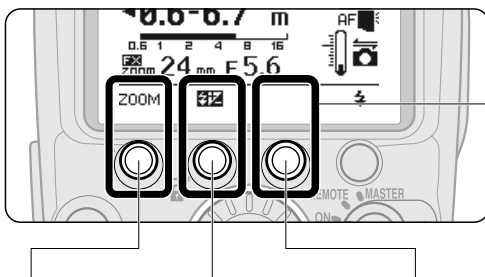
操作ボタンをロックするには（キーロック）

キーロックアイコン

ファンクションボタン1と2(カギのマーク付き)を同時に約2秒間押して、キーロックアイコンを表示させると、操作ボタンがロックされます。

- 電源スイッチ/ワイヤレス増灯モードスイッチ、テスト発光ボタンはロックされません。
- 再度、ファンクションボタン1と2を同時に約2秒間押すと、キーロックを解除できます。

ファンクションボタンの使い方

発光モードや設定状態によって、ファンクションボタンに割当てられる機能が異なります。

・ボタンに割当てられている機能は、アイコンで表示されます。
・ボタンに機能が割当てられていない場合は、何も表示されません。

ファンクションボタン1　ファンクションボタン2　ファンクションボタン3

アイコンと割当てられた機能

アイコン	機能
ZOOM	照射角設定
(調光補正アイコン)	調光補正値設定
M	マニュアル発光量設定
(TTL調光アンダーアイコン)	TTL調光アンダー量表示
F No	絞り値設定
m	距離設定（距離優先マニュアル発光モード時）
Times / Hz	発光回数/発光間隔設定
SEL	設定項目の切り換え
(配光タイプアイコン)	配光タイプの切り換え
ZOOM(戻るアイコン)	照射角自動設定への移行

【ワイヤレス増灯撮影時】（□D-1）

アイコン	機能
CH	チャンネル設定
♪	サウンドモニターの切り換え

【カスタムメニュー設定時】（□B-13）

アイコン	機能
↑	前ページ表示
↓	次ページ表示
(マイメニュー/フルメニューアイコン)	マイメニューとフルメニューの切り換え
□/☑	マイメニューへの登録/削除
(戻るアイコン)	マイメニューへの登録/削除の中止

撮影の基本ステップ

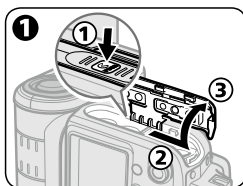
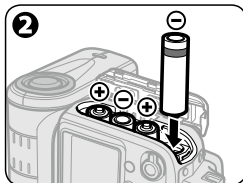
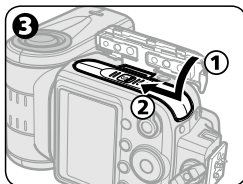
SB-910とCLS対応カメラとの組み合わせで、i-TTL調光モードを使った撮影の基本的なステップを説明しています。

✔ 連続発光についてのご注意

・発光部が過熱するのを防ぐため、連続発光は15回でいったん発光を止めて、発光部を10分以上、自然冷却してください。

・連続発光を断続的に繰り返した場合は、内部の安全機構が働き、発光間隔が最大で15秒程度まで長くなることがあります。この状態からさらに連続発光を行うと、「高温検出警告画面」に変わり、発光が禁止されて、電源OFFとカスタムメニュー設定を除く操作ができなくなります（📖E-23）。この場合は数分間、発光を止めると警告画面が消えて、通常の操作ができます。

・安全機構が作動するまでの時間は、周囲温度やSB-910の発光量によって異なります。

ステップ1 電池を入れる

❶電池ぶたロック解除ボタンを押しながら、電池ぶたをスライドさせて開ける

❷＋－表示の向きに電池を入れる

❸電池ぶたを押さえながら、スライドさせて閉じる

使用できる電池と電池交換の目安

次の同じ種類の単3形電池4本を使います。
電源ONや発光後、レディーライト点灯までの時間が表のように遅くなったら、早めに新しい電池に交換または充電してください。交換の際は、4本とも新品電池をお使いください。

電池の種類	レディーライト点灯までの時間
1.5V アルカリ単3形電池	20秒以上
1.5V リチウム単3形電池	10秒以上
1.2V ニッケル水素単3形充電池	10秒以上

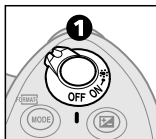
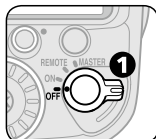
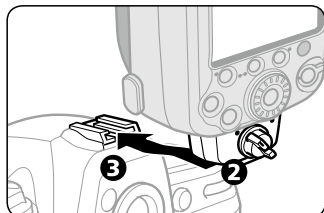
- 使用電池別の最短発光間隔、発光回数等は「仕様」をご覧ください。（□H-20）
- アルカリ電池はメーカーにより性能が大きく異なることがあります。
- 1.5Vマンガン単3形電池のご使用はおすすめしません。
- 外部電源（別売）を使うと電源供給が安定し、発光回数を増やしたり発光間隔を短縮できます。（□H-11）

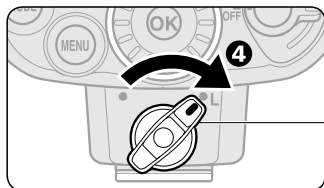
電池についてのご注意

- 「安全上のご注意」の「危険」、「警告」、「注意」（□A-14～A-18）の注意事項をお守りください。
- 「電池についてのご注意」（□H-7）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。
- リチウム単3形電池は発熱時に出力電流を抑える機能を備えているため、連続発光すると発光間隔が長くなることがあります。

電池容量不足画面

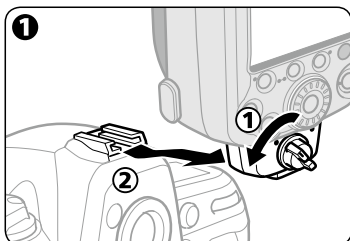
電池容量が不足すると、表示パネルが左の画面に変わり、すべての動作が停止します。新しい電池に交換または充電してください。

ステップ2 カメラに取り付ける

❶SB-910およびカメラの電源OFFを確認する

❷ロックレバーが左（白丸）にあることを確認する

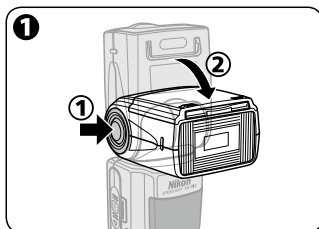
❸取付け脚をアクセサリーシューに差し込み、奥まで押し込む

❹ロックレバーを右にLの位置まで回す

☑ ロックの確認

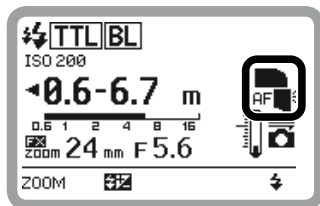
ロックレバーが止まり、ロック機構の指標が合っていることを確認してください。

カメラからの取外し方

❶SB-910およびカメラの電源をOFFにしてから、ロックレバーを左に90°回し、取付け脚をゆっくり引き抜く

- 取付け脚が引き抜けない場合は、もう一度、ロックレバーを左にいっぱいまで回してからゆっくり引き抜いてください。
- 無理に引き抜かないでください。

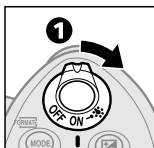
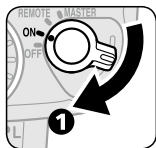
ステップ3 フラッシュヘッドを設定する

❶ フラッシュヘッドロック解除ボタンを押しながら、フラッシュヘッドを正面に設定する

・フラッシュヘッドは正面および上方向90°でロックされます。

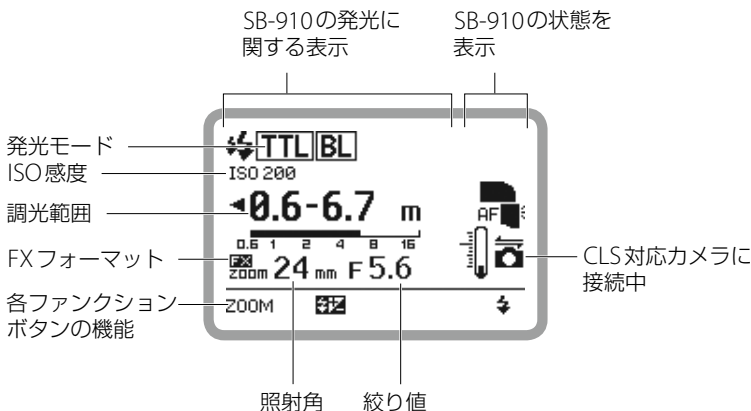
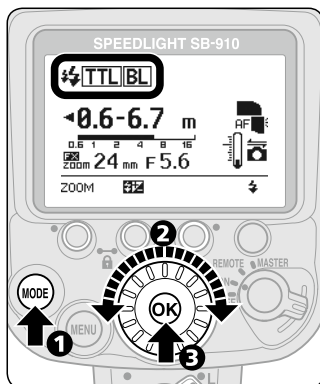
フラッシュヘッドの状態表示

正面に設定されている。

フラッシュヘッドが正面以外に設定されている。（上方、左右バウンス表示）

フラッシュヘッドが下方向に設定されている。（下方バウンス表示）

ステップ4 電源をONにする

❶ SB-910およびカメラの電源をONにする

画面表示例

- 次の画面は、i-TTL調光モード、FXフォーマット、スタンダード配光、ISO感度200、照射角24mm、絞り値F5.6の場合の表示例です。
- 表示は、SB-910の設定や使用するカメラ、レンズによって異なります。

ステップ5 発光モードを設定し、撮影する

❶［MODE］ボタンを押して、発光モード表示を反転させる

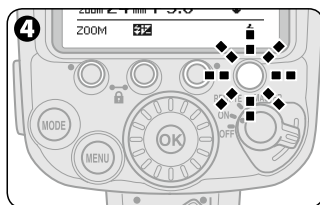
❷セレクターダイヤルを回してTTL BLを表示させる

❸［OK］ボタンを押す

発光モードの切り換え方

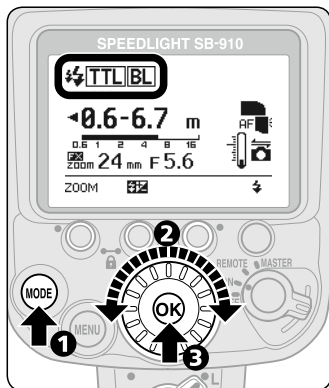
セレクターダイヤルを右に回すと、発光モードが次のように切り換わります。

・使用できない発光モードは表示されません。

・［MODE］ボタンを押しても、同様に切り換えられます。

❹SB-910またはカメラのファインダー内のレディーライトの点灯を確認して、撮影する

設定と表示について

表示パネルのアイコンは各種設定状態を表わし、発光モードや設定状態によって異なります。

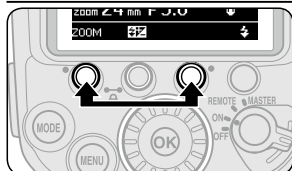
・各種設定は、基本的に次の方法で変更できます。

❶変更したい項目のボタンを押して、反転表示させる

❷セレクターダイヤルを回して、設定を選択する

❸[OK]ボタンを押して、設定を確定する

・確定した項目が通常の表示に戻ります。

・[OK]ボタンを押さない場合は、約8秒が経過すると設定が確定します。

設定を初期設定に戻すには（ツーボタンリセット）

各種の設定（カスタムメニューを除く）を初期設定に戻すには、ファンクションボタン1と3(緑の●印付き）を同時に約2秒間押してください。

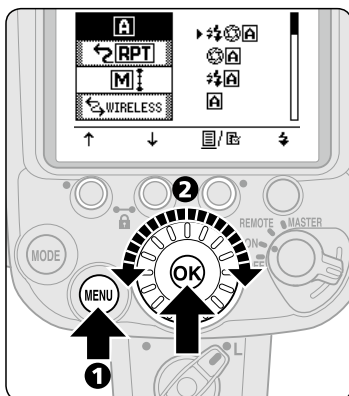
・表示パネルが反転表示後、通常表示に戻れば完了です。

カスタムメニューについて

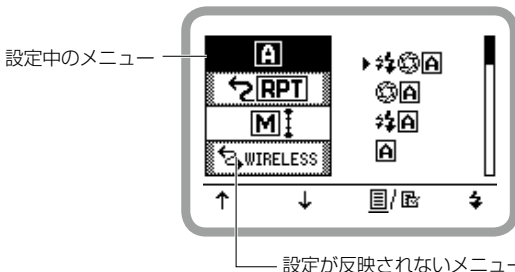
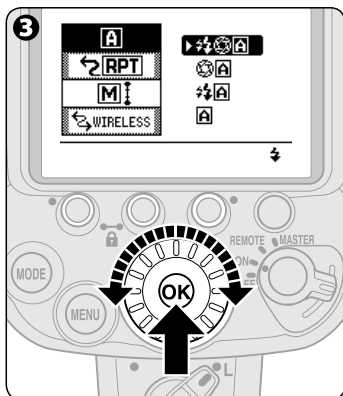
表示パネルで確認しながら、各種の設定ができます。

・表示されるアイコンは、組み合わせるカメラやSB-910の設定によって異なります。

・網目の枠のメニューは、設定しても設定内容が反映されない状態であることを示しています。

カスタムメニューの設定方法

❶［MENU］ボタンを押して、カスタムメニュー画面にする

❷セレクターダイヤルを回して設定したいメニューを選び、［OK］ボタンを押す

・反転表示のメニューが設定できます。設定中は反転表示されます。

❸ セレクターダイヤルで設定内容を選び、[OK] ボタンを押す

・選択中は反転表示されます。
・[OK] ボタンを押すと、メニュー選択画面に戻ります。

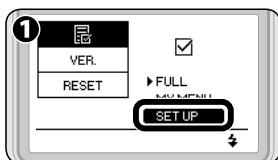
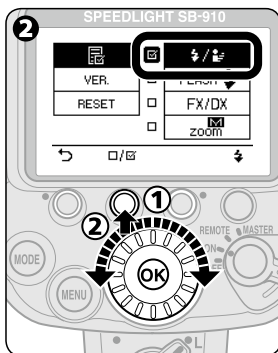
❹ [MENU] ボタンを押して、カスタムメニューを終了する

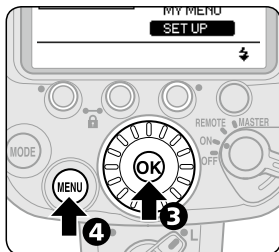
・通常の表示に戻ります。

よく使うメニューだけ表示できる「マイメニュー」

「MY MENU：マイメニュー」は、よく使うメニューだけを登録してカスタムメニュー画面に表示させる機能です。

- 登録メニューは必要に応じて追加、削除できます。
- すべてのメニューを表示させる場合は「FULL：フルメニュー」に設定してください。

マイメニューの設定方法

❶「マイメニューの設定」で「SET UP」を選択し、[OK] ボタンを押す

❷ セレクターダイヤルで登録するメニューを選び、ファンクションボタン2を押す

- メニューのチェックボックスに☑が表示されます。
- 登録できないメニューはチェックボックスが表示されません。
- 登録削除する場合は、再度ファンクションボタン2を押してチェックボックスの☑を外してください。
- ファンクションボタン1を押すと、今回の登録や削除を無効にして、「マイメニューの設定」に戻ります。

❸手順❷を繰返し、すべてのメニューを登録したら、[OK] ボタンを押して「マイメニューの設定」に戻る

❹「MENU」ボタンを押して、カスタムメニューを終了する

- 通常の表示に戻ります。

カスタムメニューのページ切り換え機能と表示切り換え機能

ページの切り換え

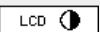
メニュー選択画面では、ファンクションボタン1と2でページを切り換えることができます。

- ページ数は1ページから5ページまで、設定によって異なります。
- 表示中のページの位置は、右のバーで確認できます。

表示の切り換え

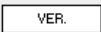
メニュー選択画面では、ファンクションボタン3でフルメニュー表示とマイメニュー表示を切り換えることができます。

カスタムメニューの詳細

・太字は初期設定です。

[A]	**外部自動調光モードの設定**（□C-4、C-7）
▶ ⚡⊛[A] ⊛[A] ⚡[A] [A]	**絞り連動外部自動調光モード（モニター発光あり）** 絞り連動外部自動調光モード（モニター発光なし） 外部自動調光モード（モニター発光あり） 外部自動調光モード（モニター発光なし）

RPT	**マスターフラッシュのリピーティングフラッシュモードの設定**（□D-8）
A B ON ▶ OFF	ON：リピーティングフラッシュモードを設定 **OFF：リピーティングフラッシュモードを設定しない**

[M]	**マニュアル発光量のステップ幅の設定**（□C-15） マニュアル発光モード時の発光量M 1/1と1/2の間のステップ幅を設定します。
[M] 1/1 [M] 1/2 1/3 EV ▶ 1 EV	1/3EV：1/3段刻みで変化 **1EV：1段変化**

WIRELESS	**ワイヤレス増灯モードの設定**（□D-1）
A B ▶ Advanced SU-4	**Advanced：アドバンストワイヤレスライティング** SU-4：SU-4タイプのワイヤレス増灯

表示	設定内容
⚡/ (テスト発光ボタン)	**テスト発光ボタンの設定**（□E-21、E-22）
▶FLASH MODELING	**FLASH：テスト発光** MODELING：モデリング発光

表示	設定内容
FLASH ⚡	**i-TTL調光モード時のテスト発光量の設定**（□E-21）
▶M1/128 M1/32 M1/1	**M 1/128：約1/128の光量** M 1/32：約1/32の光量 M 1/1：フル発光

表示	設定内容
FX/DX	**FX/DXフォーマットの設定**（□A-6） 照射角の手動設定時のFX/DXフォーマットを設定します。
M zoom ▶FX↔DX FX DX	**FX↔DX：カメラに合わせて自動切り換え** FX ：FXフォーマット（36×24） DX：DXフォーマット（24×16）

表示	設定内容
M zoom	**オートパワーズーム禁止の設定**（□E-19） 照射角の自動設定機能を設定/解除します。
zoom ON ▶OFF	ON：オートパワーズーム禁止（手動設定専用） **OFF：オートパワーズーム（手動設定不可）**

表示	設定内容
AF	**AF補助光/本発光禁止の設定**（□E-20） AF補助光の照射/禁止、スピードライトの発光禁止を設定します。
AF ▶ON OFF AF ONLY	**ON：AF補助光を照射** OFF：AF補助光の照射禁止 AF ONLY：スピードライトの発光禁止（AF補助光を照射）

STBY	**スタンバイ機能の設定**（📖E-22） 自動的に待機（スタンバイ）状態になるまでの時間を設定します。
▶AUTO 40 80 160 300 ---	**AUTO：カメラの半押しタイマーと連動** 40：40秒 80：80秒 160：160秒 300：300秒 ---：スタンバイ機能解除

ISO	**ISO感度の手動設定**（📖E-21） ISO感度を手動で設定します。ISO3～8000の間で選択できます。
64 80 ▶100 125 160	**100：ISO感度100**

READY	**リモートモード時のレディーライトの設定**（📖D-18） リモートモード時の消費電力節減のためのレディーライトの点灯/点滅/消灯を設定します。
▶REAR,FRONT REAR FRONT	**REAR, FRONT：後側が点灯、前側（リモートモード時）が点滅** REAR：後側のレディーライトのみ点灯 FRONT：前側のレディーライト（リモートモード時）のみ点滅

LIGHT	**表示パネルバックライトの点灯／強制消灯設定**（📖H-8）
▶ON OFF	**ON：点灯** OFF：強制消灯

LCD	**表示パネルのコントラストの設定**（📖H-8） 設定できるコントラストは9段階で、グラフで表示します。
+ −	**9段階の5段目**

m/ft	距離表示単位の設定
▶m ft	**m：メートル** ft：フィート

WP	**ワイドパネル破損時の照射角の手動設定**（📖E-11） ワイドパネル破損時に照射角を固定するか、手動設定するかを設定します。
ZOOM M 14 mm ON ▶OFF	ON：手動設定可能 **OFF：手動設定不可**

	マイメニューの設定（📖B-15） カスタムメニュー画面で、すべてのメニューを表示するか、登録したメニューだけを表示するかを設定します。
▶FULL MY MENU SET UP	**FULL：すべてのメニューを表示** MY MENU：登録したメニューのみ表示 SET UP：マイメニューの編集

VER.	**ファームウェアバージョン表示**（📖H-9）
7.XXX	

RESET	**カスタムメニューリセットの設定** カスタムメニューの初期設定へのリセットを実行します。 （「距離表示単位の設定」と「マイメニューの設定」を除く）
YES ▶NO	YES：初期設定にリセット **NO：リセットしない**

B 操作方法

i-TTL調光モード

モニター発光を行って被写体からの反射光をカメラで測光して、カメラがスピードライトの発光量を制御する調光方式です。

- i-TTL調光モードでの撮影手順は、「撮影の基本ステップ」をご覧ください。（□B-6）
- i-TTL調光モードはBL（バランス）調光またはスタンダード調光が選択できます。

i-TTL-BL調光

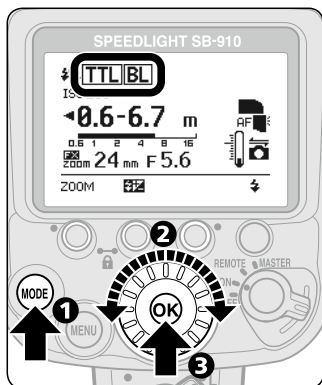
被写体と背景光のバランスを考慮して発光量を制御する、バランス調光を行います。TTL BLが表示されます。

スタンダードi-TTL調光

背景光を考慮せず、主要被写体が基準露光量になるように発光量を制御します。主要な被写体を強調した撮影に最適です。TTLが表示されます。

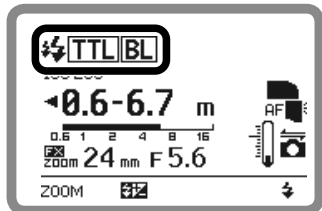
カメラの測光モードとi-TTL調光モードについて

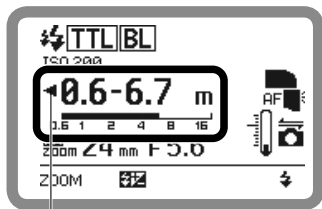
- i-TTL-BL調光時にカメラの測光モードをスポット測光に切り換えると、自動的にスタンダードi-TTL調光に切り換わります。
- スポット測光からマルチパターン測光、中央部重点測光に戻すと、i-TTL-BL調光に戻ります。

i-TTL調光モードの設定方法

❶［MODE］ボタンを押す

❷セレクターダイヤルを回して TTL BL または TTL を表示させる

❸［OK］ボタンを押す

i-TTL調光モード時の表示例

（モニター発光マーク）：モニター発光を行います。
TTL ：i-TTL調光を行います。
BL ：バランス調光を行います。

i-TTL調光モード時の調光範囲

近距離側の調光限界

調光範囲は数字とインジケーターで表示されます。

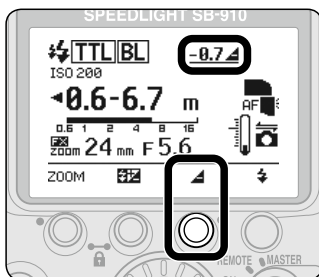
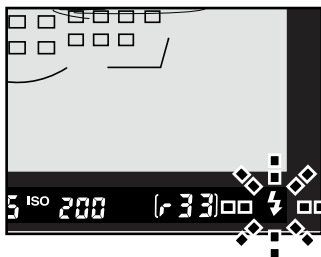
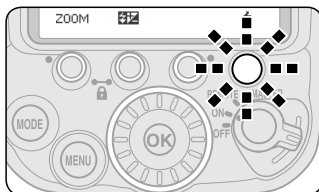
- スピードライトから被写体までの距離は、調光範囲内に設定してください。
- 調光範囲はFX/DXフォーマット、配光タイプ、ISO感度、照射角、絞り値によって異なります。詳細は「仕様」をご覧ください。（□H-15）

C 発光モード

ISO感度、絞り値、焦点距離の自動設定

CLS対応カメラ、CPUレンズとの組み合わせ時は、ISO感度、絞り値、焦点距離などのカメラやレンズの情報はSB-910に自動的に設定されます。

・ISO感度連動範囲の詳細は、お使いのカメラの使用説明書をご覧ください。

光量不足警告が出たら

・発光直後にカメラのファインダー内およびSB-910のレディーライトが約3秒間点滅した場合は、撮影に必要な光量が不足している可能性があります。

スピードライトから被写体までの距離を短くする、絞り値を開放側にする、ISO感度を上げるなどして、撮影し直してください。

・TTL調光アンダー表示と、光量不足量の目安となるアンダー量が、約3秒間表示されます。（表示範囲：－0.3EV～－3.0EV）

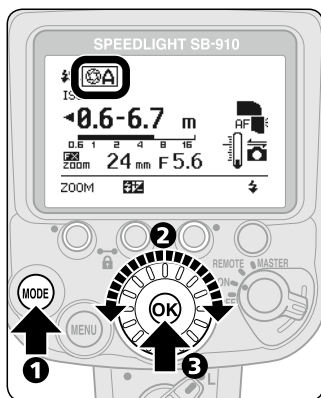
・TTL調光アンダー量表示は、消灯後もファンクションボタン3を押すと、押している間は表示されます。

絞り連動外部自動調光モード

スピードライトの発光による被写体からの反射光を外部自動調光用センサー窓で測光し、カメラから伝達されるISO感度・絞り値・焦点距離・露出補正値などの情報を加えて、スピードライトが発光量を制御します。

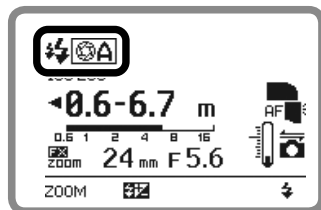
絞り連動外部自動調光モードの設定方法

絞り連動外部自動調光モードと外部自動調光モード（□C-7）の切り換えは、カスタムメニューで行います。（□B-17）

・初期設定は絞り連動外部自動調光モード（モニター発光あり）です。
・カメラから絞り値情報が伝達されない場合は、自動的に外部自動調光モードに設定されます。

❶ [MODE] ボタンを押す

❷ セレクターダイヤルを回して[⊚A]を表示させる

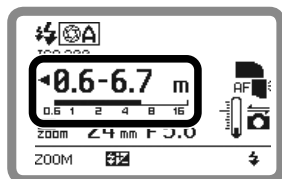
❸ [OK] ボタンを押す

絞り連動外部自動調光モード時の表示例

[モニター発光アイコン]：モニター発光を行います。

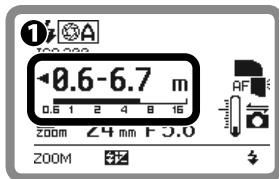
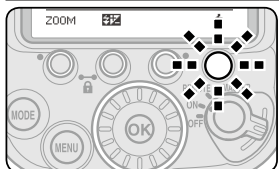
[⊚A]：絞り連動外部自動調光を行います。

モニター発光について

- モニター発光の有無は、カスタムメニューで選択できます。（□B-17）
- 「モニター発光あり」に設定すると本発光直前にモニター発光を行い、本発光に必要な被写体情報を収集して発光を制御するので、「モニター発光なし」に比べて、より精度の高い発光制御となります。
- オートFPハイスピードシンクロ撮影（□E-24）、FVロック撮影（□E-24）をする場合は、「モニター発光あり」に設定してください。

絞り連動外部自動調光モード時の調光範囲

調光範囲は数字とインジケーターで表示されます。

- スピードライトから被写体までの距離は、調光範囲内に設定してください。
- 調光範囲はFX/DXフォーマット、配光タイプ、ISO感度、照射角、絞り値によって異なります。詳細は「仕様」をご覧ください。（□H-15）

絞り連動外部自動調光モードの撮影手順

❶ スピードライトから被写体までの距離が調光範囲内にあることを確認する

❷ レディーライトの点灯を確認して、撮影する

光量不足警告が出たら

発光直後にカメラのファインダー内およびSB-910のレディーライトが約3秒間点滅した場合は、撮影に必要な光量が不足している可能性があります。

スピードライトから被写体までの距離を短くする、絞り値を開放側にする、ISO感度を上げるなどして、撮影し直してください。

撮影前に光量不足を確認するには

実際の撮影と同様にカメラとSB-910を設定し、テスト発光します。

- 発光直後にレディーライトが点滅した場合は、撮影に必要な光量が不足している可能性があります。

外部自動調光モード

スピードライトの発光による被写体からの反射光を外部自動調光用センサー窓で測光し、スピードライトが発光量を制御します。

外部自動調光モードの設定方法

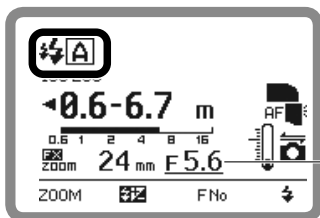
外部自動調光モードと絞り連動外部自動調光モード（□C-4）の切り換えは、カスタムメニューで行います。（□B-17）

・初期設定は絞り連動外部自動調光モード（モニター発光あり）です。

❶［MODE］ボタンを押す

❷セレクターダイヤルを回して Ⓐ を表示させる

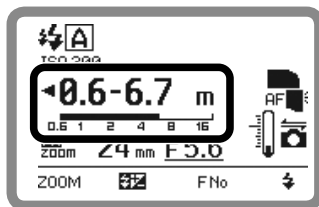
❸［OK］ボタンを押す

外部自動調光モード時の表示例

絞り値。SB-910で設定した場合は、アンダーラインが表示されます。

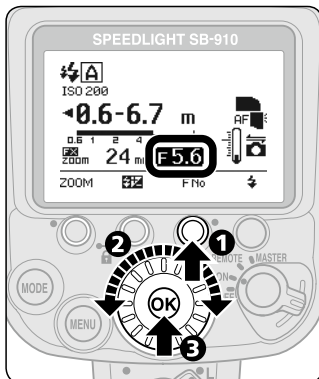
⚡︎：モニター発光を行います。
Ⓐ：外部自動調光を行います。

モニター発光について

- モニター発光の有無は、カスタムメニューで選択できます。（□B-17）
- 「モニター発光あり」に設定すると本発光直前にモニター発光を行い、本発光に必要な被写体情報を収集して発光を制御するので、「モニター発光なし」に比べて、より精度の高い発光制御となります。
- オートFPハイスピードシンクロ撮影（□E-24）、FVロック撮影（□E-24）をする場合は、「モニター発光あり」に設定してください。

外部自動調光モード時の調光範囲

調光範囲は数字とインジケーターで表示されます。

- スピードライトから被写体までの距離は、調光範囲内に設定してください。
- 調光範囲はFX/DXフォーマット、配光タイプ、ISO感度、照射角、絞り値によって異なります。詳細は「仕様」をご覧ください。（□H-15）

外部自動調光モードの撮影手順

❶ **ファンクションボタン3を押して、絞り値表示を反転させる**

❷ **調光範囲を確認しながら、セレクターダイヤルを回して絞り値を設定する**

- 絞り値はファンクションボタン3を押しても変更できます。
- スピードライトから被写体までの距離が調光範囲内にあれば、適切な露光量が得られます。

❸ **［OK］ボタンを押す**

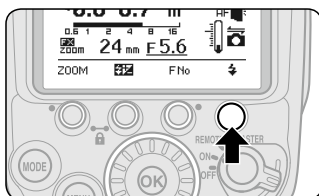
❹ **SB-910に設定した絞り値を、レンズまたはカメラに設定する**

❺ **レディーライトの点灯を確認して、撮影する**

✔ 光量不足警告が出たら

発光直後にカメラのファインダー内およびSB-910のレディーライトが約3秒間点滅した場合は、撮影に必要な光量が不足している可能性があります。

スピードライトから被写体までの距離を短くする、絞り値を開放側にする、ISO感度を上げるなどして、撮影し直してください。

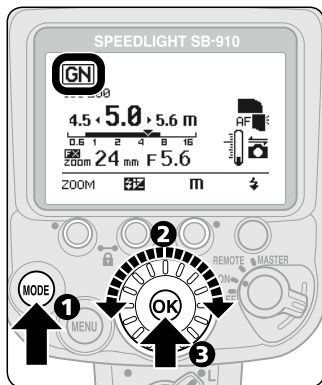
撮影前に光量不足を確認するには

実際の撮影と同様にカメラとSB-910を設定し、テスト発光します。

- 発光直後にレディーライトが点滅した場合は、撮影に必要な光量が不足している可能性があります。

距離優先マニュアル発光モード

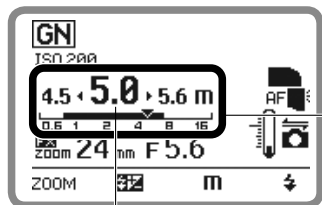
スピードライトから被写体までの距離を設定すれば、カメラの設定に合わせて適正な発光量をスピードライトが自動的に設定するマニュアル発光です。

距離優先マニュアル発光モードの設定方法

距離優先マニュアル発光モードは、フラッシュヘッドが正面および下方向以外に設定されていると設定できません。

❶［MODE］ボタンを押す

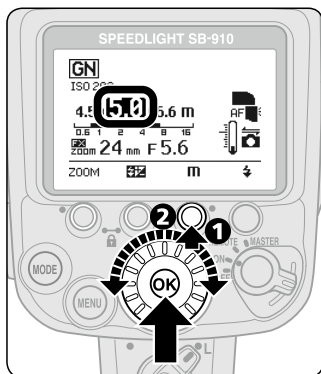
❷セレクターダイヤルを回して GN を表示させる

❸［OK］ボタンを押す

距離優先マニュアル発光モード時の表示例
（スピードライトから被写体までの距離が5mの場合）

設定した距離（▼）と調光範囲（インジケーター）
設定した距離が調光範囲内にあれば、
適切な露光量が得られます。

距離（数値）

C 発光モード

距離優先マニュアル発光モードの撮影手順

❶ ファンクションボタン3を押して、距離表示を反転させる

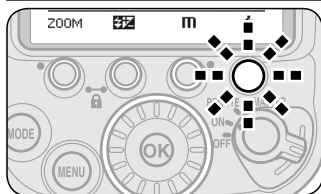
❷ セレクターダイヤルを回して距離を設定し、[OK] ボタンを押す

- 距離はファンクションボタン3を押しても変更できます。
- 設定可能な距離は0.3m～20mで、ISO感度によって異なります。

❸ レディーライトの点灯を確認して、撮影する

距離優先マニュアル発光モード時の設定可能な撮影距離

- 設定可能な距離は0.3m～20mです。
- スピードライトから被写体までの距離が距離表示と異なる場合は、近距離側の数値に設定してください。例えば、スピードライトから被写体までの距離が2.7mの場合は、2.5mに設定します。

☑ 光量不足警告が出たら

発光直後にカメラのファインダー内およびSB-910のレディーライトが約3秒間点滅した場合は、撮影に必要な光量が不足している可能性があります。

絞り値を開放側にする、ISO感度を上げるなどして、撮影し直してください。

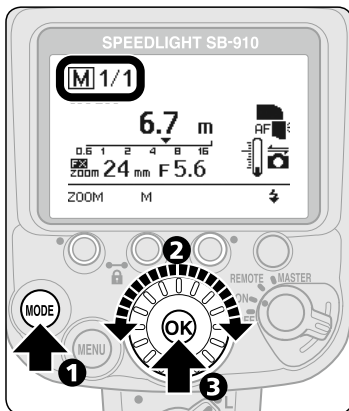
距離優先マニュアル発光モード時にフラッシュヘッドを回転させると

- 距離優先マニュアル発光モード時にフラッシュヘッドを正面および下方向以外に設定すると、自動的に絞り連動外部自動調光または外部自動調光モードに切り換わります。
- フラッシュヘッドを正面または下方向に戻すと、自動的に距離優先マニュアル発光モードに戻ります。

マニュアル発光モード

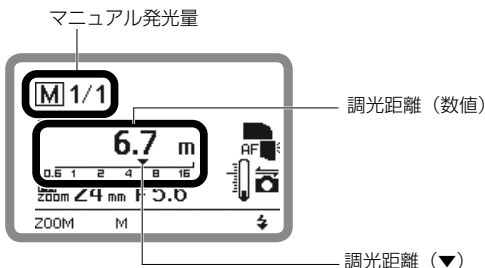
任意の絞り値と発光量の組み合わせで、スピードライトから被写体までの距離や露出を撮影者が設定できます。

・発光量はM 1/1（フル発光）からM 1/128の微少発光まで、撮影意図に合わせて設定できます。
・マニュアル発光モードでは、撮影後の光量不足警告は行われません。

マニュアル発光モードの設定方法

❶［MODE］ボタンを押す

❷セレクターダイヤルを回して M を表示させる

❸［OK］ボタンを押す

マニュアル発光モード時の表示例

マニュアル発光モードの撮影手順

❶ファンクションボタン2を押して、発光量表示を反転させる

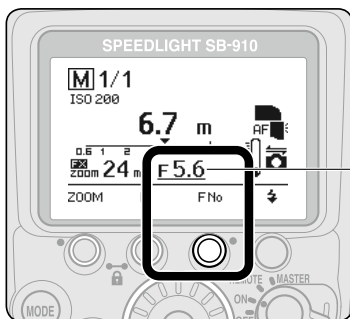
❷セレクターダイヤルを回して発光量を設定し、[OK] ボタンを押す

・発光量はファンクションボタン2を押しても変更できます。

・スピードライトから被写体までの距離は、表示された調光距離に合わせてください。

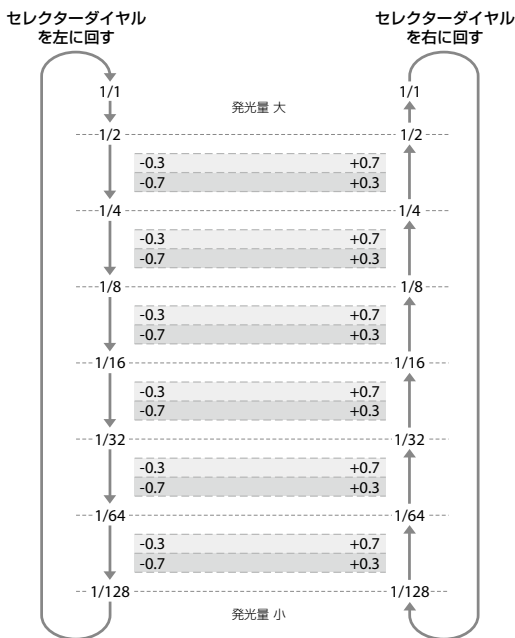
❸レディーライトの点灯を確認して、撮影する

レンズの絞り値情報がない場合

カメラからSB-910にレンズの絞り値情報が伝達されない場合は、ファンクションボタン3に絞り値設定機能が割り当てられます。

SB-910で設定した絞り値はアンダーラインが表示されます。

マニュアル発光モード

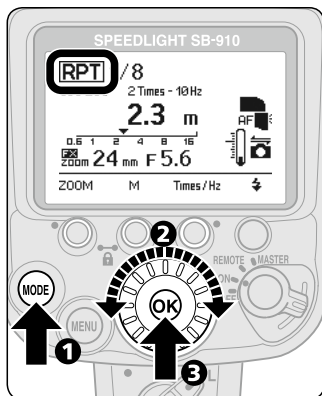
■ マニュアル発光モード時の発光量の設定方法

発光量表示が反転しているときにセレクターダイヤルを回すと発光量が変化します。

- 上図のように、セレクターダイヤルを左に回すと分母が大きく(発光量が小さく)なり、右に回すと分母が小さく（発光量が大きく）なります。
- 発光量は1/3段ずつ変化します（1/1と1/2の間を除く)。従って、1/32 −0.3と1/64 ＋0.7は同じ発光量を意味します。
- M 1/1と1/2の間のステップ幅は、初期設定では1段ですが、カスタムメニューで1/3段に設定できます（🕮B-17)。お使いのカメラによっては、シャッタースピードを速くすると M 1/2以上の光量がM 1/2と同程度まで小さくなることがあります。

リピーティングフラッシュモード

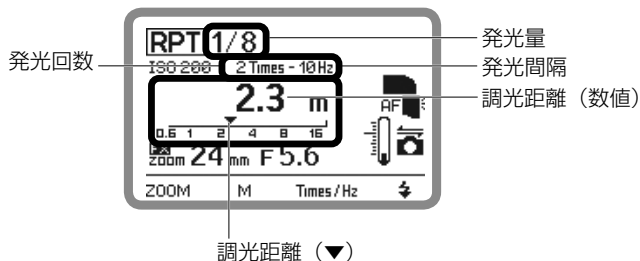
シャッターが開いている間、スピードライトが連続発光して、1コマの画面内に被写体の連続した動きを写し込める発光モードです。

・リピーティングフラッシュ撮影時は、新品電池またはフル充電した電池を使用し、1回のレリーズごとにスピードライトの充電時間を充分にとってください。
・シャッタースピードが遅くなりますので、三脚のご使用をおすすめします。
・リピーティングフラッシュモードでは、撮影後の光量不足警告は行われません。

リピーティングフラッシュモードの設定方法

❶［MODE］ボタンを押す

❷セレクターダイヤルを回して RPT を表示させる

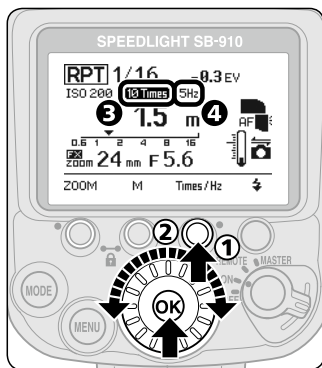
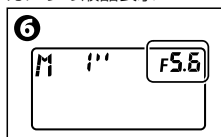
❸［OK］ボタンを押す

リピーティングフラッシュモード時の表示例

発光量、発光回数、発光間隔の決め方

- 発光回数（Times）は1コマで連続発光させる回数です。
- 発光間隔（Hz）は1秒間当たりの発光回数です。
- 発光回数は最大の発光回数であり、露光中にだけ発光するため、シャッタースピードを速くしたり、発光間隔を長く設定すると、実際の発光回数は設定した回数以下になります。
- 発光量と発光間隔の組み合わせにより、次のように最大連続発光回数が制限されています。表を参照して、各数値を設定してください。

最大連続発光回数

<table>
<tr><th rowspan="2">発光間隔</th><th colspan="13">発光量</th></tr>
<tr><th>M1/8</th><th>M1/8–1/3EV</th><th>M1/8–2/3EV</th><th>M1/16</th><th>M1/16–1/3EV</th><th>M1/16–2/3EV</th><th>M1/32</th><th>M1/32–1/3EV</th><th>M1/32–2/3EV</th><th>M1/64</th><th>M1/64–1/3EV</th><th>M1/64–2/3EV</th><th>M1/128</th></tr>
<tr><td>1Hz</td><td rowspan="2">14</td><td rowspan="2">16</td><td rowspan="2">22</td><td rowspan="2">30</td><td rowspan="2">36</td><td rowspan="2">46</td><td rowspan="2">60</td><td rowspan="2">68</td><td rowspan="2">78</td><td rowspan="2">90</td><td rowspan="2">90</td><td rowspan="2">90</td><td rowspan="2">90</td></tr>
<tr><td>2Hz</td></tr>
<tr><td>3Hz</td><td>12</td><td>14</td><td>18</td><td>30</td><td>36</td><td>46</td><td>60</td><td>68</td><td>78</td><td>90</td><td>90</td><td>90</td><td>90</td></tr>
<tr><td>4Hz</td><td>10</td><td>12</td><td>14</td><td>20</td><td>24</td><td>30</td><td>50</td><td>56</td><td>64</td><td>80</td><td>80</td><td>80</td><td>80</td></tr>
<tr><td>5Hz</td><td>8</td><td>10</td><td>12</td><td>20</td><td>24</td><td>30</td><td>40</td><td>44</td><td>52</td><td>70</td><td>70</td><td>70</td><td>70</td></tr>
<tr><td>6Hz</td><td>6</td><td>7</td><td>10</td><td>20</td><td>24</td><td>30</td><td>32</td><td>36</td><td>40</td><td>56</td><td>56</td><td>56</td><td>56</td></tr>
<tr><td>7Hz</td><td>6</td><td>7</td><td>10</td><td>20</td><td>24</td><td>26</td><td>28</td><td>32</td><td>36</td><td>44</td><td>44</td><td>44</td><td>44</td></tr>
<tr><td>8Hz</td><td>5</td><td>6</td><td>8</td><td>10</td><td>12</td><td>14</td><td>24</td><td>26</td><td>30</td><td>36</td><td>36</td><td>36</td><td>36</td></tr>
<tr><td>9Hz</td><td>5</td><td>6</td><td>8</td><td>10</td><td>12</td><td>14</td><td>22</td><td>24</td><td>28</td><td>32</td><td>32</td><td>32</td><td>32</td></tr>
<tr><td>10Hz</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>20</td><td>22</td><td>26</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td></tr>
<tr><td>20Hz</td><td rowspan="9">4</td><td rowspan="9">5</td><td rowspan="9">6</td><td rowspan="9">8</td><td rowspan="9">9</td><td rowspan="9">10</td><td rowspan="9">12</td><td rowspan="9">14</td><td rowspan="9">18</td><td rowspan="9">24</td><td rowspan="9">24</td><td rowspan="9">24</td><td rowspan="9">24</td></tr>
<tr><td>30Hz</td></tr>
<tr><td>40Hz</td></tr>
<tr><td>50Hz</td></tr>
<tr><td>60Hz</td></tr>
<tr><td>70Hz</td></tr>
<tr><td>80Hz</td></tr>
<tr><td>90Hz</td></tr>
<tr><td>100Hz</td></tr>
</table>

リピーティングフラッシュモードの撮影手順

カメラの液晶表示

❶ファンクションボタン2を押して、発光量表示を反転させる

❷セレクターダイヤルで発光量を設定し、[OK] ボタンを押す

- 発光量は、ファンクションボタン2を押しても変更できます。
- 設定できる発光量は、1/8～1/128です。

❸ファンクションボタン3を押して発光回数表示を反転させ、セレクターダイヤルで発光回数を設定し、[OK] ボタンを押す

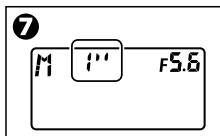
❹ファンクションボタン3を押して発光間隔表示を反転させ、セレクターダイヤルで発光間隔を設定し、[OK] ボタンを押す

❺設定した発光量と焦点距離からガイドナンバーを求める

- ガイドナンバーの詳細は、仕様をご覧ください。(📖H-17)

❻スピードライトから被写体までの距離とガイドナンバーから絞り値を求めて、カメラ側で絞り値を設定する

- 絞り値は計算式で求めます。(📖H-4)
- SB-910では絞り値を設定できません。
- 設定した発光量と絞り値に見合う調光距離が表示されます。

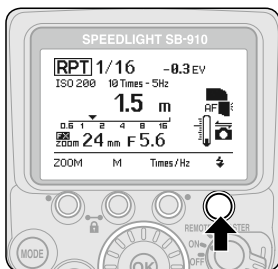
カメラの液晶表示

❼シャッタースピードを設定する

- 次の計算式で求めた秒数よりも遅いシャッタースピードにしてください。

  発光回数÷発光間隔＝秒数

- 例えば、発光回数を10回、発光間隔を5Hzに設定した場合、シャッタースピードは2秒より低速に設定してください。
- Bulb（バルブ）も設定できます。

❽レディーライトの点灯を確認して、撮影する

撮影前に発光状態を確認するには

実際の撮影と同様にカメラとSB-910を設定し、テスト発光します。

- 設定した発光間隔と発光回数で発光します。

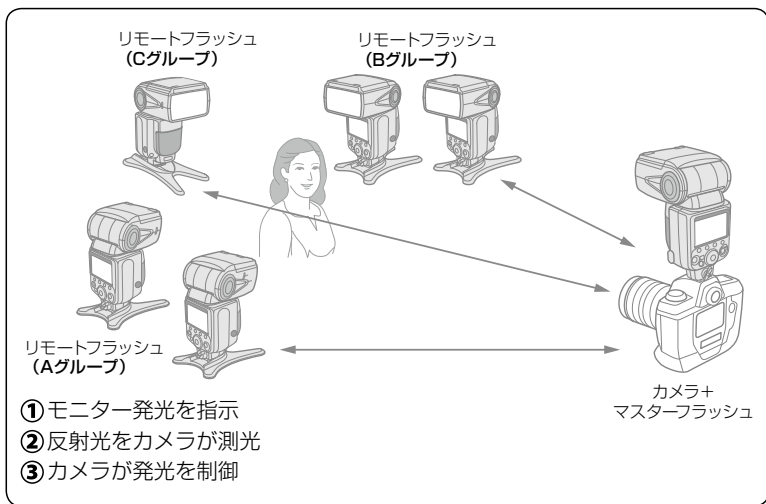
リピーティングフラッシュ撮影時の露出の補正

- 手順の❻で設定した絞り値で得られる調光距離は、最初の発光で適正露出となる値です。そのままリピーティングフラッシュ撮影すると、像が重なった部分の露出がややオーバーになります。
- 必要に応じてカメラ側の絞り値の設定でアンダー側に露出補正してください。

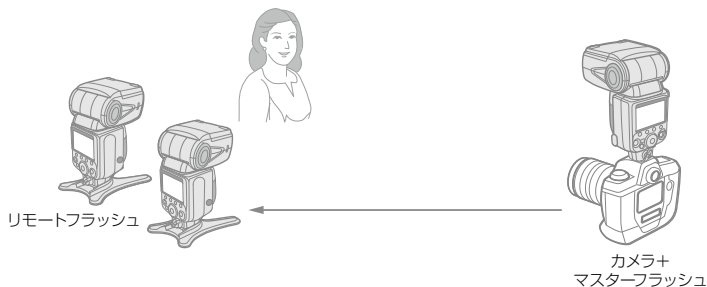
SB-910のワイヤレス増灯の仕組み

SB-910では、「アドバンストワイヤレスライティグ（初期設定）」と「SU-4タイプ」の2つのワイヤレス増灯撮影ができます。

- 一般的な増灯撮影にはアドバンストワイヤレスライティング撮影をおすすめします。
- 「アドバンストワイヤレスライティング」と「SU-4タイプ」はカスタムメニューで切り換えます。（□B-17）

アドバンストワイヤレスライティング撮影

- マスターフラッシュ（主灯）は、カメラに装着したSB-910（1台のみ）です。
- リモートフラッシュ（補助灯）のグループは最大3つ（A、B、C）を設定できます。
- リモートフラッシュの1グループは1台または複数のスピードライトで設定できます。
- マスターフラッシュおよびリモートフラッシュの各グループごとに、異なる発光モードや調光補正値を設定できます。

SB-910のワイヤレス増灯の仕組み

SU-4タイプのワイヤレス増灯撮影

①発光開始に連動して発光（AUTO（オート）モード時/M（マニュアル）モード時）

②発光停止に連動して発光停止（AUTO（オート）モード時）

- マスターフラッシュ（主灯）は、カメラに装着したスピードライトまたはカメラの内蔵フラッシュが使えます。
- マスターフラッシュは必ずモニター発光を解除するか、モニター発光しない発光モードに設定してください。
- リモートフラッシュの発光モードは、リモートフラッシュ側で設定します。リモートフラッシュ同士は同じ発光モードに設定してください。

SB-910のワイヤレス増灯撮影機能

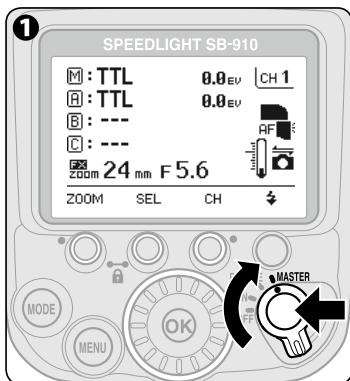
		マスターモード時 MASTER	リモートモード時 REMOTE
アドバンストワイヤレスライティング撮影	発光モード	• i-TTL 調光モード • 絞り連動外部自動調光モード＊1 • 外部自動調光モード＊1 • マニュアル発光モード • 発光なし	マスターフラッシュで設定（グループごとに異なるモードを設定可能）
	リピーティングフラッシュ撮影	カスタムメニューで設定	使用可能
	調光補正値	設定可能	マスターフラッシュで設定（グループごとに異なる値を設定可能）
	グループ	最大 3 グループ（A、B、C）	
	チャンネル＊2	4 チャンネル（1 ～ 4）	
SU-4 タイプのワイヤレス増灯撮影	発光モード	• 絞り連動外部自動調光モード＊1 • 外部自動調光モード＊1 • 距離優先マニュアル発光モード • マニュアル発光モード	• AUTO（オートモード） • M（マニュアルモード） • OFF（受光禁止）
	調光補正値	設定可能	－

＊1 カスタムメニューの設定に関係なく、絞り連動外部自動調光モードになります。レンズ情報（焦点距離、絞り値）が得られないときは、自動的に外部自動調光モードになります。

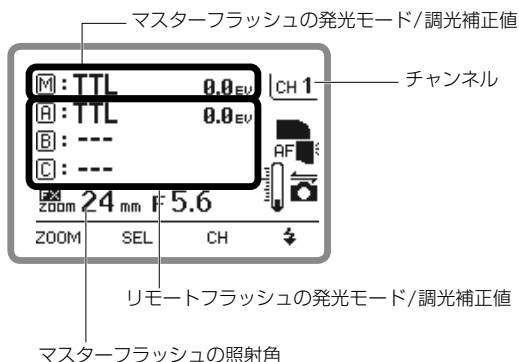
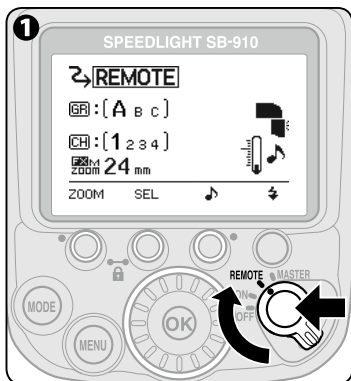
＊2 4つのチャンネルから1つを使用します。複数の人がアドバンストワイヤレスライティング撮影を行っているときは、誤発光を防止するため、他の人とは異なるチャンネルに設定してください。

☑ マスターフラッシュの「発光なし」について

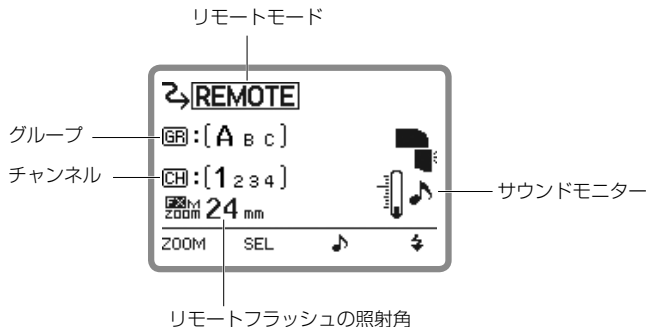
マスターフラッシュの発光モードを「発光なし」に設定して、リモートフラッシュのみで撮影する場合でも、マスターフラッシュは少光量発光します。この少光量発光による露出への影響はほとんどありませんが、ISO感度を高感度にして近距離撮影すると被写体露出に影響を与える場合があります。この場合は、影響がなくなるまでマスターフラッシュのフラッシュヘッドを上方向にバウンス調節してください。

マスターフラッシュとしての設定

❶ワイヤレス増灯モードスイッチの指標を［MASTER］に合わせる

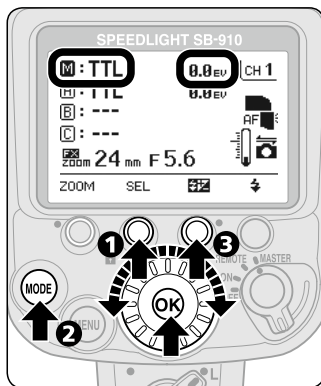
・ワイヤレス増灯モードスイッチはロック解除ボタンを押しながら回してください。

マスターモード設定時の表示例（i-TTL 調光モード時）

リモートフラッシュとしての設定

❶ワイヤレス増灯モードスイッチの指標を［REMOTE］に合わせる

・ワイヤレス増灯モードスイッチはロック解除ボタンを押しながら回してください。

リモートモード設定時の表示例（アドバンストワイヤレスライティング時）

撮影の手順

1. マスターフラッシュで発光モード、調光補正値、チャンネルを設定する

[i-TTL 調光モード、チャンネル1の設定例]

❶ マスターフラッシュのファンクションボタン2を押して、Mを反転表示させる

❷ [MODE] ボタンを押してから、セレクターダイヤルで [TTL] を選択し、[OK] ボタンを押す

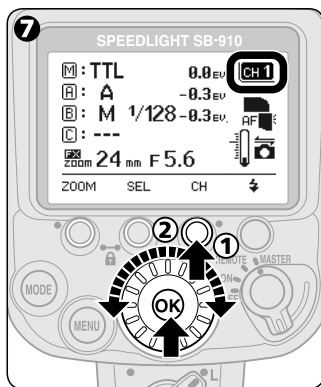
❸ ファンクションボタン3を押してから、セレクターダイヤルで調光補正値を設定し、[OK] ボタンを押す

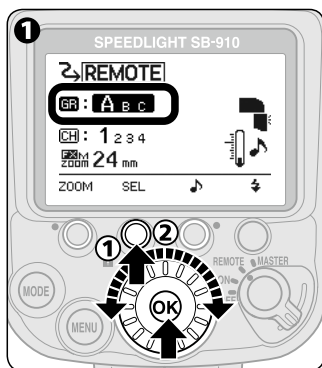
❹ ファンクションボタン2を押して、Aを反転表示させる

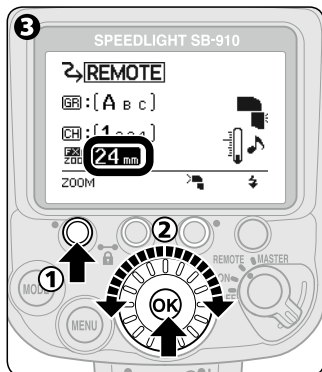
- 他のグループを設定する場合は、セレクターダイヤルで選択してください。

❺ 手順❷、❸に準じて、グループAの発光モード、調光補正値を設定する

❻ グループAと同様に、グループB、Cを設定する

❼ ファンクションボタン3を押してから、セレクターダイヤルで [CH1] を選択し、[OK] ボタンを押す

2. リモートフラッシュのグループ、チャンネル、照射角を設定する

［グループA、チャンネル1の設定例］

❶ リモートフラッシュのファンクションボタン2を押してグループ表示を反転させ、セレクターダイヤルで[A]を選択し、[OK] ボタンを押す

・設定中のグループ、チャンネルが大きく表示されます。

❷ ファンクションボタン2を押してチャンネル表示を反転させ、セレクターダイヤルで[1]を選択し、[OK] ボタンを押す

・必ず、マスターフラッシュと同じチャンネルに設定してください。

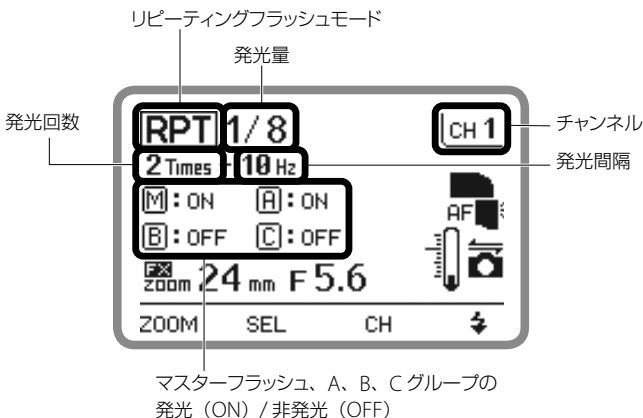
❸ ファンクションボタン1を押して照射角表示を反転させ、セレクターダイヤルで照射角を選択し、[OK] ボタンを押す

❹ レディーライトの点灯を確認して、撮影する

リピーティングフラッシュ撮影について

アドバンストワイヤレスライティング撮影では、リピーティングフラッシュ撮影ができます。

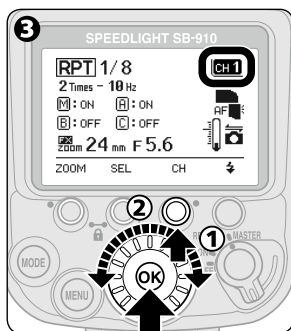
・リピーティングフラッシュモードへの切り換えは、カスタムメニューで行います。（📖B-17）

リピーティングフラッシュ時の表示例

リピーティングフラッシュ時の設定方法

- 発光モードは「発光あり」または「発光なし」しか設定できません。
- 発光量、発光回数、発光間隔はすべてのマスターフラッシュ、リモートフラッシュに共通となります。
- 「リピーティングフラッシュモード」を参照して発光量、発光回数、発光間隔を設定してください。（□C-17）

1. マスターフラッシュを設定する

❶ マスターフラッシュのファンクションボタン2を押して、設定する項目を反転表示させる

❷ セレクターダイヤルで設定内容を選択し、［OK］ボタンを押す

❸ ファンクションボタン3を押してチャンネル表示を反転させ、セレクターダイヤルで選択し、［OK］ボタンを押す

2. リモートフラッシュを設定する

❶ リモートフラッシュのグループ、チャンネル、照射角を設定する

- 設定方法は□D-7を参照してください。

SU-4タイプのワイヤレス増灯撮影

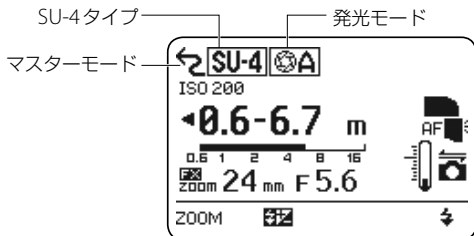
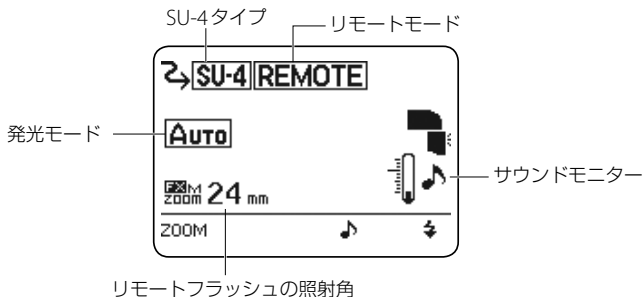
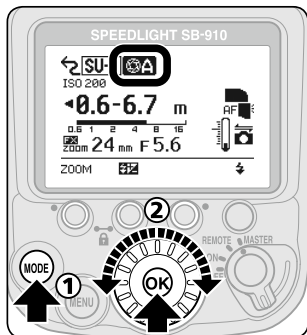
動きが速い被写体の増灯撮影には、SU-4タイプのワイヤレス増灯撮影が適しています。

SU-4タイプのワイヤレス増灯の設定方法

❶ カスタムメニューで「SU-4タイプのワイヤレス増灯」を設定する （□B-17）

❷ ワイヤレス増灯モードスイッチの指標を［MASTER］または[REMOTE]に合わせる

・ワイヤレス増灯モードスイッチはロック解除ボタンを押しながら回してください。

マスターモード時の表示例

リモートモード時の表示例

マスターフラッシュの発光モード

絞り連動外部自動調光、外部自動調光、距離優先マニュアル発光、マニュアル発光モードが設定できます。（□D-3）

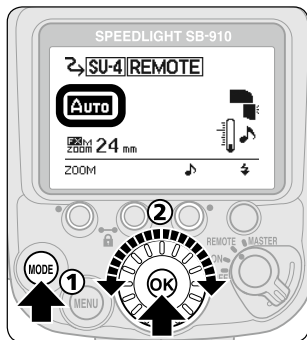
発光モードは、[MODE] ボタンを押してから、セレクターダイヤルで選択し、[OK] ボタンを押して決定します。

マスターフラッシュのモニター発光を解除する

SU-4タイプのワイヤレス増灯撮影時は、マスターフラッシュがモニター発光すると適正な露出が得られません。

- SB-910はマスターモードに設定されると、モニター発光しません。
- SB-910以外のスピードライトをマスターフラッシュとして使用時は、モニター発光を解除してください。解除の方法は、それぞれのスピードライトの使用説明書をご覧ください。

リモートフラッシュの発光モード

AUTO（オート）、M（マニュアル）、OFF（受光禁止）の3つがあります。

発光モードは、[MODE] ボタンを押してから、セレクターダイヤルで選択し、[OK] ボタンを押して決定します。

AUTO（オート）モード：

・マスターフラッシュの発光開始と発光停止に連動して、リモートフラッシュも発光開始と発光停止を行います。
・マスターフラッシュとリモートフラッシュの発光量を合わせた調光ができます。
・マスターフラッシュの発光開始と発光停止を感知できる距離は、マスターフラッシュの対向正面で約7m以内です。

M（マニュアル）モード：

・マスターフラッシュの発光開始に連動して、リモートフラッシュが発光を開始します。発光停止には連動しません。
・マスターフラッシュとリモートフラッシュの発光量を独立して設定できます。
・マスターフラッシュの発光開始を感知できる距離は、マスターフラッシュ対向正面で約40m以内です。
・発光量はM 1/1～M 1/128に設定できます。

OFF（受光禁止）：

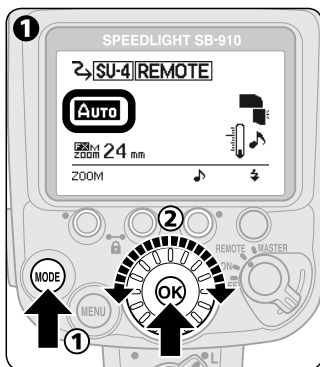
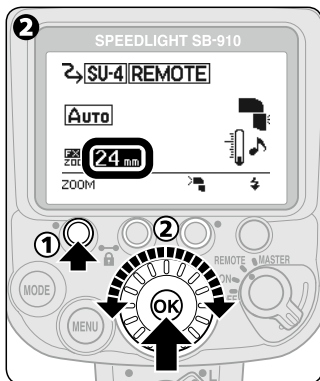
マスターフラッシュが発光しても、リモートフラッシュは発光しません。

リモートフラッシュの誤発光を防止するには

リモートフラッシュは、静電気や周囲の電磁波ノイズによって発光する場合があるので、使用しないときは、必ず電源スイッチで電源をOFFにしてください。

撮影の手順

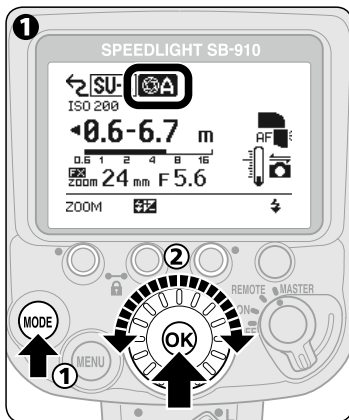
1. リモートフラッシュの発光モード、照射角を設定する

［AUTO（オート）モードの設定例］

❶［MODE］ボタンを押してから、セレクターダイヤルで［AUTO］を選択し、［OK］ボタンを押す

❷ファンクションボタン1を押して照射角表示を反転させ、セレクターダイヤルで照射角を選択し、［OK］ボタンを押す

M（マニュアル）モード時は発光量を設定する

M（マニュアル）モード時はファンクションボタン2を押して発光量を設定してください。

2. マスターフラッシュの発光モードを設定する

［絞り連動外部自動調光モードの設定例］

❶［MODE］ボタンを押してから、セレクターダイヤルで⊛Aを選択し、［OK］ボタンを押す

- リモートフラッシュをAUTO（オート）に設定した場合は、絞り連動外部自動調光、外部自動調光、距離優先マニュアル発光、マニュアル発光モードに設定します。（□D-3）
- リモートフラッシュをM（マニュアル）に設定した場合は、マニュアル発光モードに設定します。

❷レディーライトの点灯を確認して、撮影する

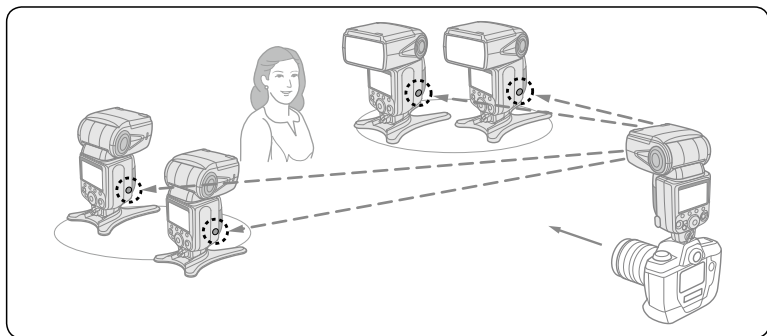
リモートフラッシュについて

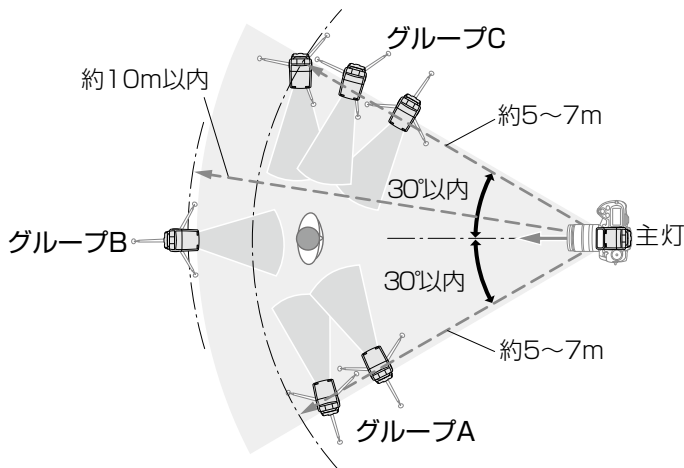
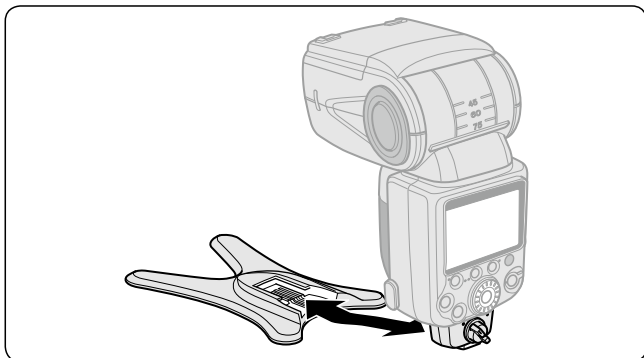
リモートフラッシュの設定について

・SB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-R200はリモートモードに設定するとスタンバイ機能が解除されます。電池の消耗に注意してください。

・リモートフラッシュの照射角は、狙いがはずれても被写体に光が充分に当たるように、撮影画角より広めに設定します。特に、被写体に近い場合は、より広くする必要があります。

リモートフラッシュの配置について

・リモートフラッシュは、マスターフラッシュの光がワイヤレスリモートセンサー窓に入る位置（通常はカメラより被写体に近い位置）に置きます。特に、手持ちで撮影する場合、マスターフラッシュの光が確実にワイヤレスリモートセンサー窓に入るように、リモートフラッシュはカメラより前に配置してください。

リモートフラッシュについて

- マスターフラッシュとリモートフラッシュの距離は、マスターフラッシュの対向正面で約10mまで、両サイドで約7mまでが目安です（アドバンストワイヤレスライティング撮影時）。ただし、周囲の照明環境により、この距離は多少変化します。
- 同時に使用できるリモートフラッシュの台数に制限はありません。しかし、撮影環境によっては他のスピードライトの発光の影響を受けることがあるため、3台程度が実用的です。アドバンストワイヤレスライティング撮影の場合は、1グループ最大3台程度を目安にしてください。
- 同じグループのリモートフラッシュは一ヵ所にまとめ、同じ方向に向けてください。

- マスターフラッシュとリモートフラッシュの間に障害物があると、正常な交信ができません。
- リモートフラッシュの光が、カメラの撮影レンズやマスターフラッシュの外部自動調光用センサー窓に入らないようにしてください。
- 付属のスピードライトスタンドAS-21を使用すると、リモートフラッシュを安定して設置できます。スピードライトの取り付け、取り外しは、アクセサリーシューと同様に行ってください。

- 配置が終わったら、必ずマスターフラッシュのテスト発光ボタンを押して、リモートフラッシュが発光することを確認してください。
- 必ずリモートフラッシュのレディーライトの点灯を確認してから撮影してください。

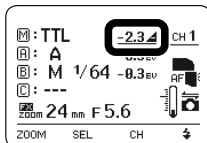
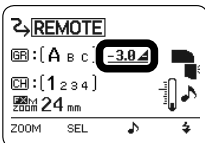
ワイヤレス増灯撮影時の状況確認について

ワイヤレス増灯撮影時、撮影前後のSB-910の状況は、レディーライトとモニター音で確認することができます。

- リモートフラッシュの状況を音で知るには、サウンドモニターONに設定します。サウンドモニターのON/OFFは、ファンクションボタン3で切り換えます。
- リモートフラッシュのレディーライトは消費電力節減のため、カスタムメニューで消灯させることができます。初期設定は、後側のレディーライトが点灯、前側のレディーライト（リモートモード時）が点滅する設定です。（📖B-19）

レディーライトとモニター音による状況確認

マスターフラッシュ	リモートフラッシュ		状　態
レディーライト	レディーライト	サウンドモニター	
点灯	後側が点灯、前側（リモートモード時）が点滅	ピー（1 回）	充電完了
消灯後、充電完了で点灯	後側が点灯、前側（リモートモード時）が点滅または消灯	ピッピッ（2 回）	正常発光
点滅（約 3 秒間）	速い点滅（約 3 秒間）	ピーピーピー（約 3 秒間）	光量不足警告*1 光量不足の可能性があります。スピードライトから被写体までの距離を短くする、絞り値を開放側にする、ISO 感度を上げるなどして、撮影し直してください。
消灯後、充電完了で点灯	速い点滅（約 6 秒間）	ピー、ピー、ピー（約3秒間）（リモートフラッシュのグループによって音程が異なる）	リモートフラッシュが正常に信号を受信できませんでした。スピードライト自身の反射光や、他のリモートフラッシュの光が強く入ってマスターフラッシュの発光停止を検出できなかった可能性があります。リモートフラッシュの位置を変えて、撮影し直してください。

＊1 次の警告画面が表示されます。

マスターフラッシュ

リモートフラッシュ

E 主な機能

SB-910の各種撮影機能や撮影をサポートする機能、カメラで設定する撮影機能を説明しています。

・カメラ側の機能や設定については、お使いのカメラの使用説明書をご覧ください。

<table>
<tr><td colspan="2">配光タイプ切り換え機能（□E-2）</td></tr>
<tr><td colspan="2">バウンス撮影（□E-4）</td></tr>
<tr><td colspan="2">近距離撮影（□E-9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">カラーフィルターを使用した撮影（□E-12）</td></tr>
<tr><td>撮影をサポートする機能
（□E-18）</td><td>調光補正
オートパワーズーム
AF 補助光
ISO 感度の手動設定
テスト発光
モデリング発光
スタンバイ
過熱防止</td></tr>
<tr><td>カメラ側の設定による
撮影機能（□E-24）</td><td>オート FP ハイスピードシンクロ撮影
FV ロック撮影
スローシンクロ（スローシャッター）撮影
赤目軽減発光撮影 / 赤目軽減スローシンクロ（スローシャッター）撮影
後幕シンクロ撮影</td></tr>
</table>

配光タイプ切り換え機能

スピードライトの配光は、画面中央がいちばん明るく、周辺になるほど暗くなるのが一般的です。SB-910では、画面中央と周辺の光量差を制御する配光タイプを3種類備えており、撮影シーンに応じて選択できます。

スタンダード配光

一般的なスピードライト撮影に適した、基本的な配光タイプです。

均質配光

周辺部の光量落ちが、スタンダード配光よりさらに少ないタイプです。

- 集合写真など、画面の周辺部まで明るくしたい撮影に適しています。

中央部重点配光

スタンダード配光に比べて、画面周辺部の光量は落ちますが、中心部ではより大きなガイドナンバーが得られます。

- ポートレートなど、四隅の光量落ちを気にしない撮影に適しています。

配光タイプの設定方法

❶ファンクションボタン1を押して、照射角表示を反転させる

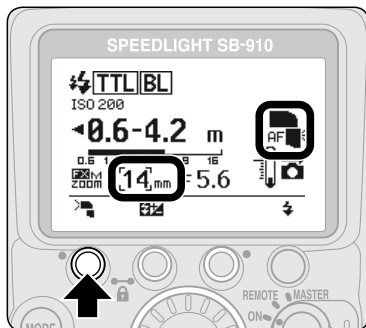
❷ファンクションボタン3を押して、配光タイプを切り換える

・設定中の配光タイプはアイコンで表示されます。

スタンダード配光

均質配光

中央部重点配光

バウンスアダプター装着時、ワイドパネル設定時は

ファンクションボタン1を押して、配光タイプを切り換えます。

・ファンクションボタン1を押すと、配光タイプに合わせて照射角も切り換わります。

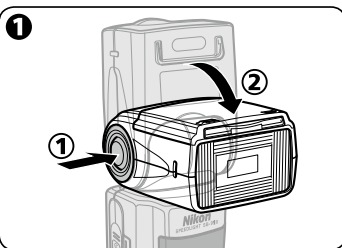
バウンス撮影

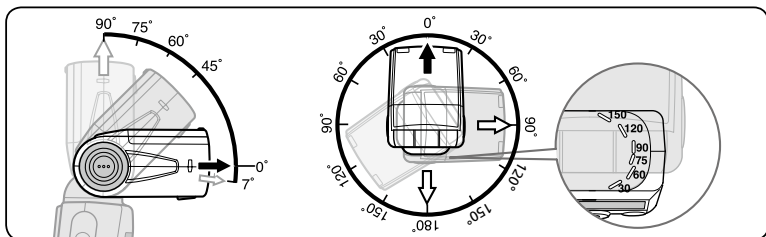
フラッシュヘッドを回転させて、天井などに反射させた光を利用する撮影をバウンス撮影といいます。被写体に正面からスピードライトの光を当てる場合に比べて、次のような効果があります。

- 近い被写体だけが白とびするのを軽減できます。
- 背景に出る影を弱められます。
- 人物の肌や髪や服のてかりを抑えられます。

・バウンスアダプターを装着すると、スピードライトの光が広く拡散して、さらにソフトに照明できます。

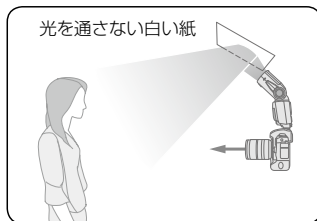
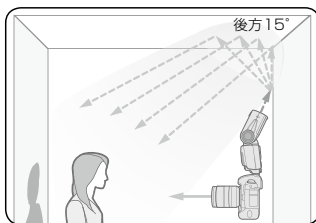
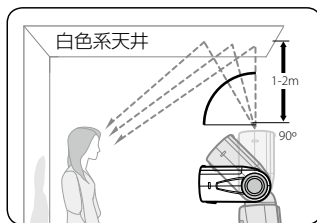
・バウンス撮影の比較作例の詳細は、別冊「作例集」をご覧ください。

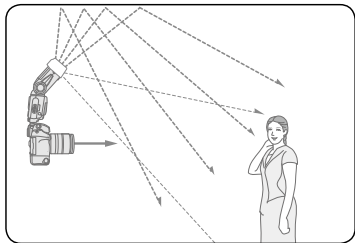
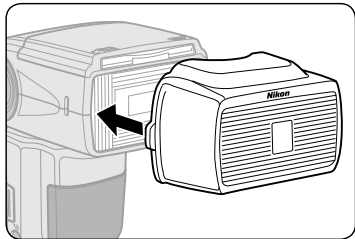
フラッシュヘッドの設定方法

❶ フラッシュヘッドロック解除ボタンを押しながら、フラッシュヘッドを回転させる

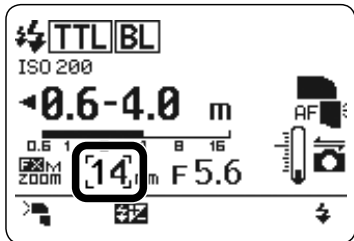
- 上方向90°〜下方向7°、左右に180°ずつ回転できます。
- 図に示す数値の角度でクリックストップします。

バウンス角度、反射面の選び方

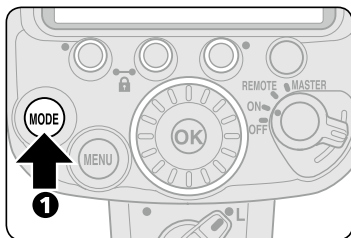
- フラッシュヘッドを上方向に設定して、天井（反射面）にバウンスさせるのが最も簡単な撮影方法です。
- カメラを縦位置に構えた場合は、フラッシュヘッドを左右に回転させると、同様の効果が得られます。
- カメラ後方の天井や壁にバウンスさせると、上方バウンスに比べて、さらにやわらかく照明できます。
- 反射面は、白色系で反射率の高いものを選んでください。反射面に色があると、被写体にその色が影響します。
- スピードライトの光が直接被写体に当たらないように注意してください。
- フラッシュヘッドと反射面との距離は、撮影状況にもよりますが、1～2m前後が理想的です。
- 反射面が遠過ぎる場合は、白い紙（A4判程度）を反射面に利用すると効果的です。このとき、反射光が被写体に当たっていることを確認してください。

E

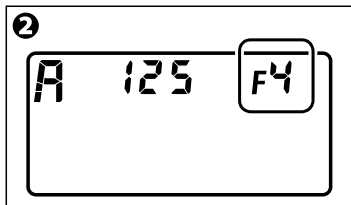
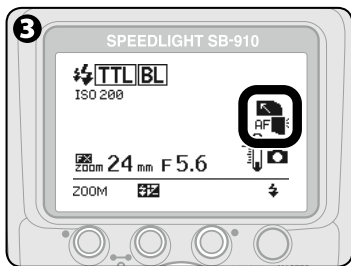
主な機能

バウンスアダプターの使い方

- スピードライトの光がバウンスアダプターによって広い範囲に拡散され、さらに光をやわらげ影を抑えることができます。
- カメラを縦位置に構えた場合でも、同様の効果が得られます。
- ワイドパネルを併用すると、さらに光を拡散する効果が得られます。（□E-10）

装着方法

バウンスアダプターは図のように、Nikonロゴを上にして取り付けてください。

照射角表示

- バウンスアダプター装着時の照射角は、配光タイプに応じて、FXフォーマットでは12mm、14mm、17mm、DXフォーマットでは8mm、10mm、11mmに切り換えられます。（□H-16）
- 配光タイプはファンクションボタン1で切り換えてください。（□E-3）

バウンス撮影の手順

❶ 発光モードを設定する

・i-TTL 調光、絞り連動外部自動調光、外部自動調光のいずれかに設定します。

カメラの液晶表示

❷ カメラ側で絞り値、シャッタースピードなどを設定する

❸ フラッシュヘッドを設定し、撮影する

・「フラッシュヘッドの設定方法」を参照して設定してください。（□E-4）

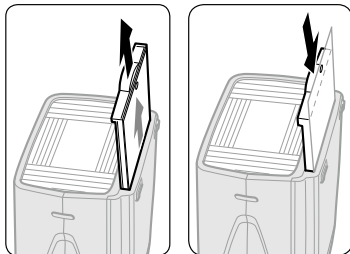
バウンス撮影時の絞り値の設定方法

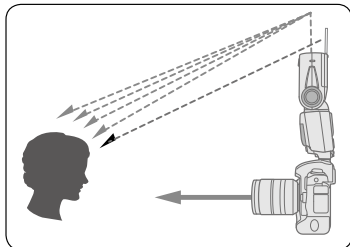
・通常（フラッシュヘッドが正面位置）の撮影に比べて、バウンス撮影は光量が減少するため、2～3段開放側（小さい数値）の絞り値に設定して、撮影結果を見て調整してください。

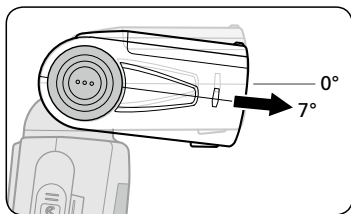
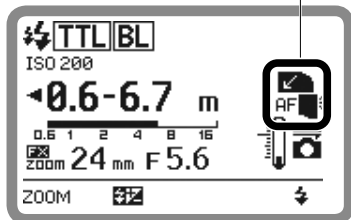
・フラッシュヘッドを正面以外の位置に設定すると、調光範囲の表示が消灯します。正面位置で調光範囲と絞り値を確認してから、絞り値を設定してください。

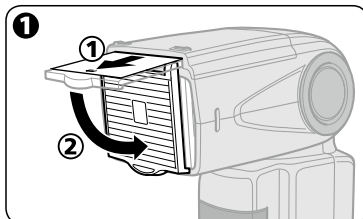
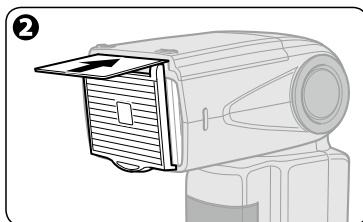
キャッチライト反射板の使い方

・バウンス撮影時、キャッチライト反射板を使うと、人物の目に光を与えて、目を生き生きと表現できます。
・フラッシュヘッドは上方90°に向けてください。「フラッシュヘッドの設定方法」を参照して設定してください。（📖E-4）

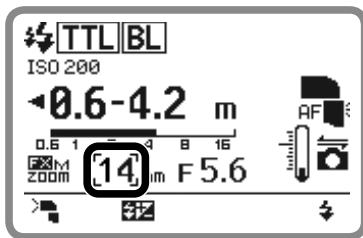
反射板の設定方法

ワイドパネルと反射板を一緒に引き出して、ワイドパネルだけを押し戻してください。

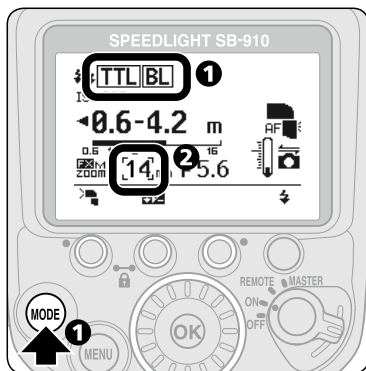
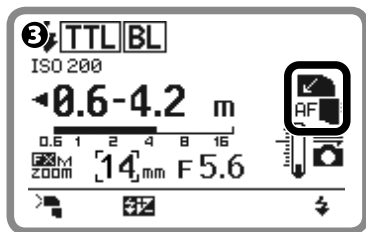
・戻すときは、再度ワイドパネルを引き出して、反射板と一緒に押し戻してください。

近距離撮影

スピードライトから被写体までの距離が約2mより近い場合は、フラッシュヘッドを下方向に設定すると、被写体の下側にもスピードライトの光を充分に回すことができます。

下方バウンスアイコン

- フラッシュヘッドを下方向に設定すると、下方バウンスアイコンが表示されます。
- ワイドパネルを使用すると、スピードライトの光が拡散されるため、影を弱めたり、顔のてかりなどを抑える効果があります。
- 全長が長いレンズでは、スピードライトの光がレンズの先端部分でさえぎられる場合があるので、ご注意ください。
- 近距離撮影時は、スピードライトの配光や使用するレンズ、焦点距離などにより、撮影画面の一部が光量不足になるケラレ現象が発生する場合があります。試し撮りをおすすめします。

ワイドパネルの設定

❶ ワイドパネルをゆっくり引き出して発光部側に倒す

❷ キャッチライト反射板を押し戻す

- ワイドパネルを戻す場合は、ワイドパネルを起こして、まっすぐ奥まで押し込んでください。

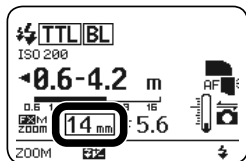
照射角表示

- ワイドパネル設定時の照射角は、配光タイプに応じて、FXフォーマットでは12mm、14mm、17mm、DXフォーマットでは8mm、10mm、11mmに切り換えられます。（H-16）
- 配光タイプはファンクションボタン1で切り換えてください。（E-3）
- 照射角を手動で設定する場合は、カスタムメニューの「ワイドパネル破損時の照射角の手動設定」で「ON（手動設定可能）」に設定してください。（B-20）

下方バウンスによる近距離撮影の手順

❶ 発光モードを設定する

❷ ワイドパネルを設定する

❸ フラッシュヘッドを下方向に設定する

❹ レディーライトの点灯を確認して、撮影する

ワイドパネルが取れてしまった場合は

- ワイドパネルを設定した状態で強い衝撃を与えると、ワイドパネルが外れるおそれがありますので、ご注意ください。
- ワイドパネルが取れてしまった場合の補修は、ご購入店またはニコンサービス機関にご依頼ください。

- ワイドパネルが取れるとワイドパネルを設定した状態と同じになり、照射角は任意に設定できなくなります。照射角を変更する場合は、カスタムメニューの「ワイドパネル破損時の照射角の手動設定」で手動設定可能にしてください。(□B-20)
- 照射角の手動設定時は、表示が四角で囲まれます。

カラーフィルターを使用した撮影

SB-910には、蛍光灯用と電球用の色補正カラーフィルターが付属しています。

・カラーフィルターによる撮影効果の詳細は、別冊「作例集」をご覧ください。

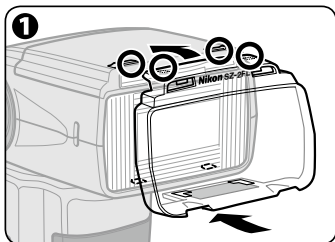
・スピードライトの光の着色には、別売のカラーフィルターセットSJ-3とカラーフィルタホルダーSZ-2が必要です。（📖H-10）

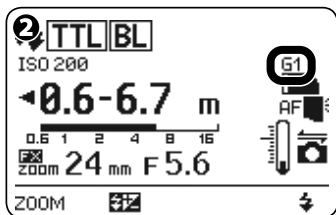
カラーフィルターの種類と用途

カラーフィルター	用途
蛍光灯用カラーフィルター（SZ-2FL。付属品）	蛍光灯の光源による影響を補正
電球用カラーフィルター（SZ-2TN。付属品）	電球の光源による影響を補正
着色用カラーフィルター（SJ-3。別売）	スピードライトの光に着色

付属のカラーフィルターと別売のカラーフィルターの補正効果について

付属のカラーフィルターSZ-2TN（電球用）と別売のカラーフィルターTN-A1/TN-A2（電球用）は、補正効果が多少異なるため、同じ光源で撮影しても画像に再現される色味に若干の差があります。この差は、カメラのホワイトバランスの微調整で補正することができます。調整量は📖E-17をご覧ください。

色補正用カラーフィルター（付属品）の使い方

❶カラーフィルターを、フラッシュヘッドにかぶせて差し込む

・図のように、Nikonロゴを上にして取り付けてください。

❷表示を確認する

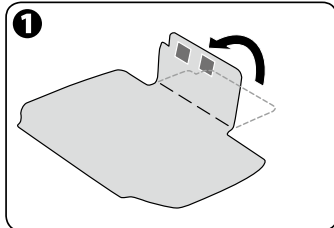
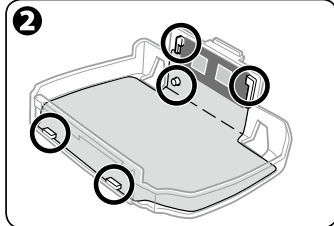
・カラーフィルターの種類が表示されます。

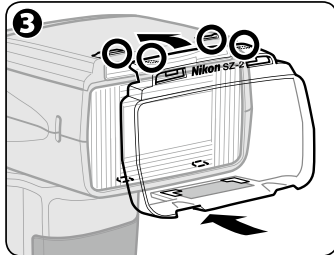
・SB-910からカメラにカラーフィルターの情報が送られます。

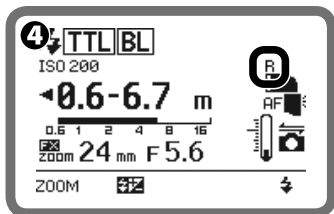
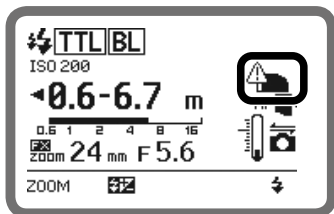
G1	蛍光灯用カラーフィルター
A1	電球用カラーフィルター

E

主な機能

着色用カラーフィルター（別売）の使い方

❶ **カラーフィルターを折り線のところで、きちんと折りまげる**

❷ **図のように、カラーフィルターをカラーフィルターホルダー（SZ-2。別売）に装着する**

- カラーフィルターの端をホルダーの切り込みに差し込み、フィルターの位置合わせ穴とホルダーの突起を合わせてください。
- カラーフィルターの識別コード（銀色のマーク）をホルダーの黒い部分に合わせてください。
- カラーフィルターはホルダーに密着させてください。浮き上がったり、端がめくれたりしている場合は、装着し直してください。

❸ **カラーフィルターホルダーを、フラッシュヘッドにかぶせて差し込む**

- 図のように、Nikonロゴを上にして取り付けてください。
- カラーフィルターホルダーは、必ずカラーフィルターを付けてからフラッシュヘッドに装着してください。

フィルターRED装着時

警告表示

❹表示を確認する

・カラーフィルターの種類が表示されます。

・カラーフィルター識別センサーはふさがないでください。

G1	FL-G1（蛍光灯用）	R	RED（赤）
G2	FL-G2（蛍光灯用）	B	BLUE（青）
A1	TN-A1（電球用）	Y	YELLOW（黄色）
A2	TN-A2（電球用）	A	AMBER（肌色）

・図の警告表示が出た場合は、カラーフィルターが正常に装着されていません。再度、装着し直してください。

☑ 着色用カラーフィルター（SJ-3）使用上のご注意

・カラーフィルターは消耗品です。外観が著しく劣化したときは、予備のフィルターと交換してください。

・発光時の熱などによってカラーフィルターの外観が変形しても、性能には問題ありません。

・カラーフィルターにキズ等があっても、変色していないかぎり、性能には問題ありません。

・カラーフィルターが汚れた場合は、乾いた柔らかい布などで軽く拭き取ってください。

カラーフィルターとカメラのホワイトバランス設定

カメラのホワイトバランスを「オート」または「フラッシュ」に設定し、色補正用カラーフィルターを装着すると、カメラが自動的に最適なホワイトバランスを設定します。

- 着色用カラーフィルター使用時は、カメラのホワイトバランスを「オート」、「フラッシュ」、「晴天」のいずれかに設定します。
- フィルター識別機能を備えていないカメラ（D2シリーズ、D1シリーズ、D200、D100、D80、D70シリーズ、D60、D50、D40シリーズ）では、装着したカラーフィルターに合わせて、次の表を参照して、カメラのホワイトバランスを設定してください。
- ホワイトバランスの詳細は、お使いのカメラの使用説明書をご覧ください。

■ カメラ別のホワイトバランス設定

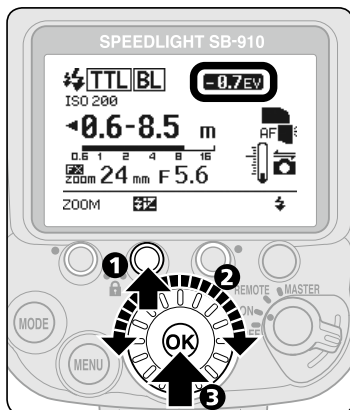
カメラ ＼ フィルター	D3*1、D3X、D3S、D700、D300*2、D300S、D90、D7000、D5100、D5000、D3100、D3000	D2シリーズ、D1X、D1H、D200、D100、D80、D70シリーズ、D60、D40シリーズ	D1、D50
SZ-2FL（蛍光灯用）	オート、フラッシュ	推奨しません	推奨しません
SZ-2TN（電球用）	オート、フラッシュ＊3	電球	電球
FL-G1、FL-G2（蛍光灯用）	オート、フラッシュ	推奨しません	推奨しません
TN-A1（電球用）	オート、フラッシュ	電球（微調整＋3）、＋1.0EV＊4	推奨しません
TN-A2（電球用）		晴天（微調整＋3）、＋0.3EV＊4	
着色用カラーフィルター（RED、BLUE、YELLOW、AMBER）	オート、フラッシュ、晴天	オート、フラッシュ、晴天（AMBERは＋0.7EV＊4）	オート、フラッシュ、晴天（AMBERは＋0.7EV＊4）

＊1 D3カメラのファームウェアがA：2.00、B：2.00以降で対応。
＊2 D300カメラのファームウェアがA：1.10、B：1.10以降で対応。
＊3 SZ-2TN使用時にTN-A1/TN-A2と同じ補正効果を得るには、ホワイトバランスを「オート」に設定するか、「フラッシュ」で微調整量A6に設定してください。
＊4 ホワイトバランスおよび調光補正値を設定してください。

- 撮影結果を見て、必要に応じて調光補正値などを調整してください。

調光補正

スピードライトの発光量だけを意図的に変えて、背景の明るさを変えずに主要被写体の明るさのみを変えることを調光補正と言います。

- 主要被写体を明るくしたい場合は＋側に、暗くしたい場合は－側に補正します。
- 発光モードがi-TTL調光、絞り連動外部自動調光、外部自動調光、距離優先マニュアル発光モードの場合に補正できます。

❶ ファンクションボタン2を押して、調光補正値表示を反転させる

❷ セレクターダイヤルで調光補正値を設定する

- ＋3.0～－3.0の範囲で、1/3段ステップで設定できます。

❸ ［OK］ボタンを押す

調光補正を解除するには

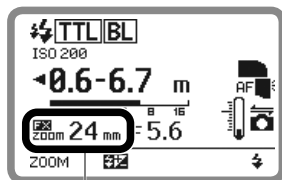
- 調光補正値を“0”に設定してください。
- 電源をOFFにしても、調光補正は解除されません。

調光補正機能を備えたフラッシュ内蔵デジタル一眼レフカメラについて

- 調光補正機能を備えたフラッシュ内蔵デジタル一眼レフカメラは、カメラ側でも発光量を補正できます。詳細はお使いのカメラの使用説明書をご覧ください。
- スピードライトとカメラの両方で調光補正した場合は、両方の補正量を加算して発光します。ただし、スピードライトの表示パネルにはスピードライトで設定した補正値のみが表示されます。

オートパワーズーム

SB-910は、レンズの焦点距離に合わせて照射角が自動的に設定されます。

- 自動設定できる照射角は設定によって異なります。詳細は「仕様」をご覧ください（□H-16）。

オートパワーズーム状態

zoom	オートパワーズーム
M zoom	照射角の手動設定
M zoom（枠付き）	オートパワーズーム禁止 （手動設定専用）
14mm	バウンスアダプター装着時 ワイドパネル使用時
17mm	最広角側の照射角
200mm	最望遠側の照射角

■ 照射角の手動設定

レンズの焦点距離と異なる照射角に設定する場合は、手動で設定します。

- 手動設定時は照射角表示にMが表示されます。
- ファンクションボタン1を押して照射角表示を反転させ、セレクターダイヤルで照射角を設定します。
- セレクターダイヤルを時計回りに回すと数値が増え、反時計回りに回すと数値が減ります。
- ファンクションボタン1を押して照射角を設定することもできます。ボタンを押すごとに数値が増え、最望遠の次は最広角になります。
- 自動設定に戻る場合は、ファンクションボタン1を押して zoom アイコンが表示されたらファンクションボタン2を押してください。

■ オートパワーズームの禁止

オートパワーズーム機能はカスタムメニューで禁止できます。（□B-18）

- オートパワーズームを禁止すると照射角表示にMが表示されます。
- 照射角を手動で設定でき、ズーミングやレンズ交換または電源ON/OFFを行っても照射角が変わりません。
- 照射角の設定方法は上の「照射角の手動設定」と同じです。

AF補助光

被写体が暗く、オートフォーカスでのピント合わせが難しい場合でも、AF補助光により、オートフォーカスでピントを合わせることができます。

- SB-910のAF補助光はマルチポイントAFに対応しています。
- AF補助光はCLSに対応していないカメラおよびニコン クールピクスでは使用できません。

■ AF補助光の使用条件

- AF補助光は、オートフォーカスができるレンズを使い、フォーカスモードがシングルAFサーボ“S”（フォーカス優先モード）、“AF-A”または“AF”に設定されている場合に使えます。
- AF補助光の有効距離は画面中央部分で約1m～10m（50mm f/1.8レンズ使用時）です。使用レンズによっては、有効距離が短くなる場合があります。
- 使用できるレンズ焦点距離は17mm～135mmです。オートフォーカス可能なフォーカスポイントは、次の図の通りです。

D3シリーズカメラの場合

17～19mmの場合	20～105mmの場合	106～135mmの場合

- フォーカスロックしている場合や、レディーライトが点灯していない場合は、AF補助光が照射されません。
- 詳細はお使いのカメラの使用説明書をご覧ください。

■ AF補助光/本発光禁止の設定

カスタムメニューでAF補助光の照射/禁止、スピードライトの発光禁止を設定できます。（□B-18）

AF：AF補助光を照射します。（初期設定）

：AF補助光の照射を禁止します。AFが表示されません。

：スピードライトの発光を禁止し、AF補助光だけを照射します。

AF補助光を使用してもピントが合わない場合は

AF補助光が照射されてもファインダー内のピント表示が点灯しないときは、マニュアルフォーカスでピントを合わせてください。

SB-910をカメラから離して使用する際には

AF補助光機能を備えたTTL調光コードSC-29を使用すると、SB-910をカメラから離して使用する際にも、AF補助光を使用したオートフォーカスでのピント合わせができます。（□H-10）

フラッシュ内蔵カメラのAF補助光との関係

- カメラ側にAF補助光機能がある場合でも、SB-910のAF補助光が優先され、自動的にAF補助光が照射されます。カメラのAF補助光は照射されません。
- SB-910でAF補助光の照射を禁止している場合は、カメラのAF補助光が照射されます。

ISO感度の手動設定

ISO感度はカスタムメニューで手動設定に変更することができます。（□B-19）

- 設定できるISO感度はISO3～8000です。ただし、カメラからのISO感度情報がある場合は、そちらが優先されます。

テスト発光

テスト発光ボタンを押すと発光して、SB-910が正常に発光するかどうかを確認できます。

- テスト発光とモデリング発光は、カスタムメニューで切り換えます。（□B-18）
- テスト発光の光量は、発光モードや設定によって異なります。
- ワイヤレス増灯でマスターモードに設定しているときは、テスト発光できません。

モデリング発光

テスト発光ボタンを押すと一定の微小光量で連続発光して、てかりや影など、ライティング状態をチェックすることができます。

・テスト発光とモデリング発光は、カスタムメニューで切り換えます。（□B-18）

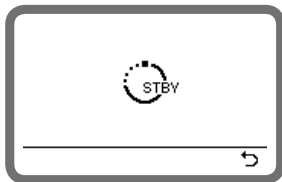
・発光時間は、最長約1.5秒間です。
・モデリング発光機能を持つカメラのプレビューボタンを押すと、SB-910がモデリング発光に設定されていなくてもモデリング発光します。詳細はお使いのカメラの使用説明書をご覧ください。

■ アドバンストワイヤレスライティング撮影時（□D-6）

・マスターフラッシュのテスト発光ボタンを押すと、発光に設定されているマスターフラッシュおよびリモートグループが一定の光量でモデリング発光します。
・カメラのプレビューボタンを押すと、発光に設定されているマスターフラッシュおよびすべてのリモートフラッシュが、設定されたモードと光量でモデリング発光します。

■ SU-4方式のワイヤレス増灯撮影時（□D-10）

・カメラのプレビューボタンを押すと、マスターフラッシュのみがモデリング発光します。
・マスターフラッシュのモデリング発光によってリモートフラッシュが連続的に発光しますが、これはモデリング発光ではありません。

スタンバイ

SB-910とカメラを操作しない状態が一定時間続くと、自動的に待機（スタンバイ）状態になり、電池の消耗を抑えます。

・SB-910のスタンバイ機能はカメラの半押しタイマーに連動しています（初期設定）。
・スタンバイ状態になるまでの時間は、カスタムメニューで変更できます。（□B-19）

スタンバイ状態から電源ONにするには

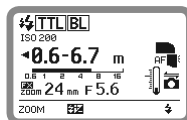
- カメラのシャッターボタンを半押しします。
- SB-910の電源スイッチをOFFにし、再度［ON］、［REMOTE］または［MASTER］に合わせます。
- テスト発光ボタンを押します。

過熱防止

SB-910は過熱による発光パネルおよび本体の破損を防止する機能を備えています。ただし、この機能は発光によって発光部の温度が上昇するのを防止するものではありません。連続発光を繰り返す場合は、温度上昇に注意してください。

- 連続発光などによって発光部の温度が上昇して、発光パネルや本体に破損のおそれがある場合は、「高温検出警告画面」に変わり、発光が禁止されて、電源OFFとカスタムメニュー設定を除く操作ができなくなります。

平常時の画面　　**高温検出警告画面1～3**

温度が高い

- 発光部を自然冷却してください。
- 警告画面が消えると、通常の操作ができます。
- 照射角が変化することによって、まれに「高温検出警告画面」が出たり消えたりすることがありますが、故障ではありません。

カメラ側の設定による撮影機能

次の撮影機能は、それぞれの機能を備えたカメラとの組み合わせでできる撮影で、カメラ側で設定します。スピードライトでは設定できません。

- カメラ側の機能や設定の詳細は、お使いのカメラの使用説明書をご覧ください。

オートFPハイスピードシンクロ撮影

対応カメラの最高速度までの高速シャッタースピードが使える機能です。

- シャッタースピードがフラッシュ同調シャッタースピードよりも高速側になった場合、自動的にFP発光に切り替わります。
- 日中の撮影でも、フラッシュ同調シャッタースピードを気にすることなく、レンズの絞りを開いて背景をぼかした撮影がお楽しみいただけます。
- アドバンストワイヤレスライティングによる増灯撮影時でも機能します。
- 使用できる発光モードは、i-TTL調光、モニター発光あり絞り連動外部自動調光、モニター発光あり外部自動調光、距離優先マニュアル発光、マニュアル発光です。
- FP発光時のTTL調光範囲、ガイドナンバーについては「仕様」をご覧ください。（📖H-19）

FVロック撮影

FVロックするとフラッシュ調光量がロックされるため、構図を変えても被写体の明るさを一定に保ったまま撮影できます。

- FVロック中にズーミングや絞り値の変更をしても、発光量は自動追随するのでフラッシュ調光量（明るさ）は変わりません。
- FVロック中はフラッシュ調光量を一定にしたまま複数のコマを撮影できます。
- アドバンストワイヤレスライティングによる増灯撮影時でも機能します。
- 使用できる発光モードは、i-TTL調光、モニター発光あり絞り連動外部自動調光、モニター発光あり外部自動調光です。
- FVとはFlash Valueの略で、フラッシュによる被写体の露光量を意味します。

スローシンクロ（スローシャッター）撮影

背景の露出を考慮して、低速シャッタースピードに制御されるので、夕景や夜景の雰囲気を生かした撮影ができます。

- シャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。

赤目軽減発光撮影/赤目軽減スローシンクロ（スローシャッター）撮影

本発光直前に小光量で3回発光して、暗いところで人物の瞳が赤く写る「赤目現象」を軽減して撮影できます。

- 赤目軽減スローシンクロ（スローシャッター）撮影は、赤目軽減発光とスローシンクロ（スローシャッター）撮影が同時に設定されます。
- 赤目軽減スローシンクロ（スローシャッター）撮影ではシャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。

後幕シンクロ撮影

夜間、動いている被写体を通常の先幕シンクロで低速シャッタースピードで撮影すると、光の軌跡が被写体の前方に流れ、不自然な写真になってしまいます。後幕シンクロでは、光の軌跡が被写体の後方に流れる自然な撮影ができます。

- 先幕シンクロ時は先幕走行終了直後に発光しますが、後幕シンクロ時は後幕走行開始直前に発光します。
- 通常、シャッタースピードを低速にして撮影するので、三脚のご使用をおすすめします。
- リピーティングフラッシュモード時は使用できません。

先幕シンクロ時

後幕シンクロ時

E 主な機能

CLS非対応一眼レフカメラ使用時

SB-910は、CLS非対応一眼レフカメラとの組み合わせでも使えますが、いくつかの機能は制限されます。

- 制限される機能は、使用するカメラによって異なります。
- 使用するカメラの使用説明書もあわせてご覧ください。

CLS対応カメラと非対応カメラの違い

	CLS 対応カメラ	CLS 非対応カメラ
カメラ通信アイコン	表示される	表示されない
使用できる発光モード	• i-TTL 調光モード • 絞り連動外部自動調光モード • 外部自動調光モード • 距離優先マニュアル発光モード • マニュアル発光モード • リピーティングフラッシュモード	• 外部自動調光モード • 距離優先マニュアル発光モード • マニュアル発光モード • リピーティングフラッシュモード
ISO 感度設定	自動設定	カスタムメニュー設定
使用できるワイヤレス増灯撮影	• アドバンストワイヤレスライティング • SU-4 タイプ	• SU-4 タイプ
カラーフィルターを使用した撮影	使用可能（フィルター識別機能搭載カメラではフィルター情報を伝達）	使用可能（ただし、フィルター情報は伝達しません）
FV ロック撮影	使用可能	使用不可
オート FP ハイスピードシンクロ撮影	使用可能	使用不可
赤目軽減発光撮影	使用可能	使用不可
後幕シンクロ撮影	使用可能	使用可能
AF 補助光	使用可能 （マルチポイント AF に対応）	使用不可
ファームアップ機能	使用可能 （ファームアップ対応カメラ）	使用不可

G ニコン クールピクスとの組み合わせについて

SB-910は、次のニコン クールピクスとの組み合わせでも使えますが、いくつかの機能は制限されます。

CLS対応ニコン クールピクス（P7100、P7000、P6000）
i-TTL対応ニコン クールピクス（P5100、P5000、E8800、E8400）

・使用するカメラの使用説明書もあわせてご覧ください。

ニコン クールピクス使用時

	CLS 対応 ニコン クールピクス	i-TTL 対応 ニコン クールピクス
使用できる発光モード	• スタンダード i-TTL 調光モード • 絞り連動外部自動調光モード • 外部自動調光モード • 距離優先マニュアル発光モード • マニュアル発光モード • リピーティングフラッシュモード	
使用できるワイヤレス増灯モード＊1	• アドバンストワイヤレスライティング • SU-4 タイプ	• SU-4 タイプ
FV ロック撮影	使用不可	
オート FP ハイスピードシンクロ撮影	使用不可	
AF 補助光	使用不可	
ファームアップ機能	使用不可	

＊1　ニコン クールピクスの内蔵フラッシュをマスターフラッシュに、SB-910をリモートフラッシュにしたワイヤレス増灯撮影はできません。

CLS対応のニコン クールピクスについて

- マスターフラッシュになるSB-910、SB-900、SB-800、SB-700またはワイヤレススピードライトコマンダーSU-800 をニコン クールピクスのアクセサリーシューに取り付けて、SB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600などを「リモートモード」に設定すれば、ワイヤレス増灯撮影ができます。
- 設定条件など詳細は、お使いのカメラの使用説明書をご覧ください。

CLS対応ニコン クールピクスとの組み合わせ時の照射角の設定

オートパワーズーム機能により、レンズの焦点距離に合わせて照射角が自動的に設定されます。このとき、照射角表示にはZOOM AUTO（ズームオート）が表示され、照射角の数値は表示されません。

H 使用上のご注意・資料

トラブルへの対処、お手入れの方法や製品の保証などを説明しています。また、使用できるアクセサリーもご紹介しています。

故障かな？と思ったら

トラブルが起きたり、警告表示が出たら、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせになる前に、次の項目を確認してください。

SB-910のトラブル

トラブル	原因	対処方法	📖
電源が入らない	電池の+−が逆になっている	電池を正しく入れてください	B-6
	電池容量が不足している	電池を交換してください	B-7
レディーライトが点灯しない	スタンバイ状態になっている	・カメラのシャッターボタンを半押ししてください ・SB-910 の電源を ON にしてください	E-22
	電池容量が不足している	電池を交換してください	B-7
発光しない	カスタムメニューで発光が禁止されている	発光禁止を解除してください	B-18
調光距離表示が出ない	フラッシュヘッドが正面に設定されていない	フラッシュヘッドを正面に設定してください	B-9
	カメラからの絞り値情報、ISO 感度情報がない	・カメラの設定を確認してください ・SB-910 をカメラに装着し直してください	—
	カメラからの焦点距離情報がない	SB-910 とカメラの電源を入れ直してください	—
オートズーム動作しない	ワイドパネルを設定している、またはバウンスアダプターを装着している	・ワイドパネルまたはバウンスアダプターを外してください ・カスタムメニューの「ワイドパネル破損時の照射角の手動設定」で、手動設定可能にしてください	B-20 E-6 E-10
	照射角の手動設定になっている	オートパワーズームに設定してください	E-19

トラブル	原因	対処方法	📖
リモートフラッシュが発光しない	マスターフラッシュとリモートフラッシュの距離が遠すぎる、または間に障害物がある	マスターフラッシュとリモートフラッシュの配置をやり直してください	D-15
	マスターフラッシュの光がリモートフラッシュのワイヤレスリモートセンサー窓に入っていない		
正常に動作しない	充分な容量がある電池を正しく入れていても左のようなトラブルがある場合は、マイクロコンピューターの誤作動の可能性があります	· SB-910 の電源スイッチを ON にしたまま、電池を入れ直してください · 電池を入れ直しても左のようなトラブルが解消されない場合は、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください	B-6
異常な表示が出る			
ボタンを押しても作動しない	キーロックされている	キーロックを解除してください	B-4
操作ができない	過熱防止機能が働いた	自然冷却して、温度が下がるのを待ってください	E-23

警告表示

表示 / 警告	原因	対処方法	📖
電池容量不足画面	電池容量不足のため、すべての動作を停止した	電池を交換してください	B-7
高温検出警告画面	SB-910 が過熱して破損するおそれがあるため、発光を禁止し、電源 OFF とカスタムメニュー設定を除く操作を停止した	自然冷却して、温度が下がるのを待ってください	E-23
WARNING! 安全回路作動画面	電圧異常を検出したため、電源スイッチ以外の操作を停止した	電源を OFF にしてから電池を取り出し、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください	H-27

表示 / 警告	原因	対処方法	📖
発光直後にレディーライトが点滅	適正露出が得られていない可能性がある	スピードライトから被写体までの距離を短くする、絞り値を開放側にするなどして、撮影し直してください	C-3 C-6 C-9 C-11 D-18
リモートフラッシュがピーピーピーと約 3 秒間鳴った	適正露出が得られていない可能性がある	スピードライトから被写体までの距離を短くする、絞り値を開放側にする、リモートフラッシュの位置を変えるなどして、撮影し直してください	D-18
フィルター認識失敗画面	装着したカラーフィルターが認識できない	カラーフィルターの装着状態を確認してください	E-15
F 5.6	カメラ側で設定した絞り値が調光範囲外である	絞り値を設定し直してください	—
F EE	レンズの絞り値が最小絞りになっていない	レンズを最小絞りに設定してください	—
F	カメラの電源が OFF	カメラの電源を ON にしてください	—
zoom Err	ズーム動作機構に異常が発生した	· SB-910 の電源を入れ直してください · 電源を入れ直しても表示が消えない場合は、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください	H-27

ガイドナンバーと絞り値、距離について

ガイドナンバー（GN）とはスピードライトの発光量を示す値で、数値が大きいほど光量が大きく、光が遠くまで届きます。
ガイドナンバー＝スピードライトから被写体までの距離（m）×絞り値（F）という関係があります（ISO 100の場合）。たとえば、SB-910はガイドナンバーが34（ISO 100、照射角35mm、FXフォーマット、スタンダード配光時、20℃）なので、ISO感度が100で絞り値がF8なら、ガイドナンバー34÷絞り値8＝4.25mまでスピードライトの光が届くことになります。

- ISO 100以外の場合は、ISO感度に応じてガイドナンバーに下の係数を乗じてください。

ISO	25	50	100	200	400	800	1600	3200	6400
係数	0.5	0.71	1	1.4	2	2.8	4	5.6	8

- ガイドナンバーの詳細は「仕様」をご覧ください。（H-17）

適正な露出が得られる絞り値、距離の求め方

絞り値 = ガイドナンバー（ISO 100・m）× ISO感度係数 ÷ スピードライトから被写体までの距離（m）

スピードライトから被写体までの距離（m）= ガイドナンバー（ISO 100・m）× ISO感度係数 ÷ 絞り値

お手入れについて

使用禁止

シンナーやベンジンなどの有機溶剤を清浄に使用しないこと

火災や健康障害の原因となります。

お手入れの方法

- 発光パネルにゴミが付着したまま発光させると、発光パネルの破損につながります。定期的にパネルを清掃してください。
- ブロアーでゴミやホコリを軽く吹き払った後、柔らかい清潔な布で軽く拭いてください。特に、海辺で使った後は、真水を数滴たらした柔らかい清潔な布で塩分を拭き取ってから、乾いた布で軽く拭いて乾かしてください。
- ブラシなどで表示パネルを拭いた場合、静電気で表示パネルが点灯したり、黒く変色したりすることがありますが、故障ではありません。しばらく放置すると、正常な状態に戻ります。
- スピードライト内部には、精密な電子部品が多く含まれています。振動や衝撃を与えないでください。また、表示パネルを強い力で押さないでください。

保管の方法

- カビや湿気による故障を防ぐため、風通しの良い乾燥したところに保管してください。
- ナフタリンや樟脳、磁気を発生する器具の近くには、置かないでください。
- 極端に高温になるところ（夏期の車内やストーブなどの近く）には、置かないでください。高温になると、故障の原因となります。
- 約2週間以上使用しないときは、電池の液漏れによる故障を防ぐために、電池を取り出してください。
- コンデンサー（スピードライト内部の部品）の劣化を防ぐため、約1ヶ月に1回はテスト発光を行ってください。

ご使用になる場所にご注意ください

- 極端に温度差がある場所に移動すると、スピードライトの内部や外観部に水滴が生じることがあります。バッグやビニール袋などに入れ、周囲の温度になじませてからご使用ください。
- テレビ塔や高圧鉄塔に近い場所では、強い磁気や電波が発生しており、誤作動することがあります。

電池についてのご注意

- 一般的に、スピードライトは非常に大きな電流を消費するため、電池などに記されている充放電回数前に電池が使えなくなる場合があります。
- 電池を交換するときは、電源をOFFにしてから、＋－を間違えないよう正しく入れてください。
- 電池の両極に油や汚れなどが付着していると、接触不良の原因となりますので、ご注意ください。
- 電池の仕様により、連続発光して電池が高温になると発光できなくなることがあります。ただし、電池温度が下がれば、ご使用になれます。
- 電池には、低温になるほど性能が低下する性質、使用しないでおくと電圧が回復する性質、使わなくても自己放電する性質があります。ご使用になる前には電池の容量の確認を心がけて、電池は早めに交換することをおすすめします。
- 電池は、高温・多湿になる場所を避けて保管してください。
- 充電池のご使用上の注意や充電方法などについては、各メーカーの電池および充電器の使用説明書をご覧ください。
- 充電池以外は充電しないでください。充電すると、破裂する恐れがあります。

小型充電式電池のリサイクル	**不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。**

表示パネルについて

表示パネルの特性

- 表示パネルの液晶には指向性があります。斜め上から見ると読み取りにくくなりますが、やや下の方向から見ると読み取りやすくなります。
- 約60℃以上の高温下では、一時的に液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば表示も正常に戻ります。
- 低温下では液晶の応答速度が多少遅くなり、表示が読み取りにくくなったり、表示の切り換わりに時間がかかったりすることがありますが、常温に戻れば正常に戻ります。

表示パネルバックライトの点灯、消灯

SB-910の電源がONの状態でボタンやスイッチを操作すると、バックライトが点灯して、表示パネルが読み取りやすくなります。

- SB-910を操作しない状態が約16秒間続くと、バックライトは消灯します。
- 点灯しないようにするには、カスタムメニューでOFF（強制消灯）に設定します。（⧉B-19）
- OFFに設定しても、カメラ側の表示パネルの照明が点灯すると、連動してSB-910の表示パネルの照明も点灯します。また、カスタムメニュー画面にしたときも点灯します。

表示パネルのコントラストの設定

表示パネルのコントラストは、カスタムメニューで調整して、読み取りやすくすることができます。（⧉B-19）

- コントラストは9段階に設定できます。

ファームアップの方法

SB-910のファームアップに対応したカメラでは、ニコンウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロードして、カメラボディーからの操作でアップデートすることができます。

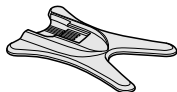
http://www.nikon-image.com/support/

- D3カメラはファームウェアがA：2.00、B：2.00以降で対応。
- D300カメラはファームウェアがA：1.10、B：1.10以降で対応。
- 現在使用中のファームウェアのバージョンは、カスタムメニューで確認できます。（🕮B-20）
- ファームアップ対応カメラをお持ちでない方は、ニコンサービス機関にご相談ください。

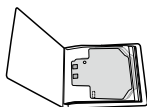
SB-910のファームアップに対応していないカメラ
D2シリーズ、D1シリーズ、D200、D100、D80、D70シリーズ、D60、D50、D40シリーズ

使用できるアクセサリー

■ スピードライトスタンド　AS-21

付属品のスピードライトスタンドAS-21と同じものです。

■ カラーフィルターセット　SJ-3

カラーフィルター8種類、20枚のセットです。カラーフィルターホルダーSZ-2に装着して使用します。

・FL-G1（蛍光灯用）・FL-G2（蛍光灯用）
・TN-A1（電球用）・TN-A2（電球用）
・BLUE（青）・YELLOW（黄色）
・RED（赤）・AMBER（肌色）

■ カラーフィルターホルダー SZ-2

SJ-3のフィルターを装着するホルダーです。SB-900の付属品と同じものです。

■ ウォーターガード WG-AS1、WG-AS2、WG-AS3

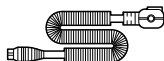
SB-910とニコンデジタル一眼レフカメラの組み合わせ時に、カメラ連動接点への水滴の浸入を防ぐカバーです。

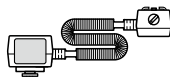
WG-AS1：D3シリーズ専用
WG-AS2：D300シリーズ専用
WG-AS3：D700専用

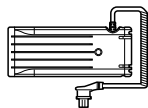
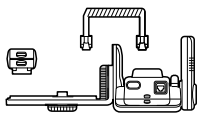
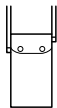
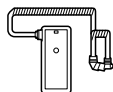
■ スレーブフラッシュコントローラー SU-4

マスターフラッシュの発光開始と発光停止をSU-4のセンサーで検知し、SU-4を取り付けたスピードライトの発光開始と停止を同じタイミングで制御するので、ワイヤレス増灯撮影ができます。

■ TTL調光コード　SC-28/17（約1.5m）

スピードライトをカメラから離してi-TTL調光撮影をする際に使用します。三脚取り付け用のねじ穴を備えています。

■ TTL調光コード　SC-29（約1.5m）

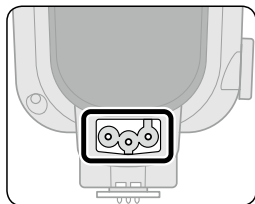
スピードライトをカメラから離してi-TTL調光撮影をする際に使用します。AF補助光機能を備えています。

外部電源

電源供給が安定し、発光回数を増やしたり発光間隔を短縮できます。

パワーアシストパック
SD-9

パワーブラケットSK-6

単二パック
SD-7

パワーアシストパック
SD-8A

- 外部電源使用時でも、SB-910本体の電池が必要です。
- 他社製の外部電源と組み合わせてお使いになると、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

外部電源の接続方法

外部電源コネクターのキャップを外し、電源コードを接続してください。

- SD-7の接続には、電源コードSC-16Aをご使用ください。SC-16は使用できません。

主な仕様

外部電源	使用電池	最短発光間隔 *1	発光回数 *2/ 発光間隔 *1
パワーアシストパック SD-9*3	1.5V アルカリ単 3 形電池 ×4 本	約 1.9 秒	280 回以上／ 1.9 〜 30 秒
	1.5V リチウム単 3 形電池 ×4 本	約 2.4 秒	500 回以上／ 2.4 〜 120 秒
	1.2V ニッケル水素単 3 形充電池（eneloop）×4 本	約 1.2 秒	350 回以上／ 1.2 〜 30 秒
	1.5V アルカリ単 3 形電池 ×8 本	約 1.2 秒	450 回以上／ 1.2 〜 30 秒
	1.5V リチウム単 3 形電池 ×8 本	約 1.6 秒	840 回以上／ 1.6 〜 120 秒
	1.2V ニッケル水素単 3 形充電池（eneloop）×8 本	約 0.8 秒	520 回以上／ 0.8 〜 30 秒
パワーブラケット SK-6*3	1.5V アルカリ単 3 形電池 ×4 本	約 2.2 秒	190 回以上／ 2.2 〜 30 秒
	1.5V リチウム単 3 形電池 ×4 本	約 3.2 秒	420 回以上／ 3.2 〜 120 秒
	1.2V ニッケル水素単 3 形充電池（2600 mAh）×4 本	約 1.9 秒	240 回以上／ 1.9 〜 30 秒
	1.2V ニッケル水素単 3 形充電池（eneloop）×4 本	約 1.9 秒	230 回以上／ 1.9 〜 30 秒
単二パック SD-7	1.5V アルカリ単 2 形電池 ×6 本*4	約 2.0 秒	320 回以上／ 2.0 〜 30 秒
	1.2V ニッケル水素単 2 形充電池 ×6 本*5	約 1.5 秒	280 回以上／ 1.5 〜 30 秒
	1.2V ニッケル水素単 2 形充電池 ×6 本*6	約 1.5 秒	260 回以上／ 1.5 〜 30 秒
パワーアシストパック SD-8A*3	1.5V アルカリ単 3 形電池 ×6 本	約 2.0 秒	300 回以上／ 2.0 〜 30 秒
	1.5V リチウム単 3 形電池 ×6 本	約 2.2 秒	550 回以上／ 2.2 〜 120 秒
	1.2V ニッケル水素単 3 形充電池（2600 mAh）×6 本	約 1.5 秒	260 回以上／ 1.5 〜 30 秒
	1.2V ニッケル水素単 3 形充電池（eneloop）×6 本	約 1.5 秒	250 回以上／ 1.5 〜 30 秒

＊1 発光間隔は、30 秒（リチウム電池使用時は 120 秒）に 1 回の発光を行ったときのフル発光相当からレディーライト点灯までの時間です。
＊2 発光回数は、30 秒（リチウム電池使用時は 120 秒）に 1 回の発光を行ったときの、フル発光相当から 30 秒以内にレディーライトが点灯する回数です。
＊3 SB-910、外部電源共に同じタイプの電池を使用。
＊4 SB-910 に 1.5V アルカリ単 3 形電池を使用。
＊5 SB-910 に 1.2V ニッケル水素単 3 形充電池 (2600 mAh) を使用。
＊6 SB-910 に 1.2V ニッケル水素単 3 形充電池 (eneloop) を使用。

- 電池初期での性能です。電池の新旧、および同じ銘柄でも、電池性能の変更等によってデータが異なることがあります。
- SD-8A または SK-6 使用時にモデリング発光を行う場合、発光は SB-910 内の電源のみで行われ外部電源は作動しない場合がありますが、故障ではありません。

仕様

形式	直列制御方式 TTL 自動調光スピードライト
ガイドナンバー(照射角35mm、FXフォーマット、スタンダード配光時、20℃)	34（ISO 100・m）/48（ISO 200・m）
調光範囲（i-TTL 調光モード / 絞り連動外部自動調光モード / 外部自動調光モード時）	0.6m ～ 20m(フォーマット、配光タイプ、ISO 感度、照射角、絞り値によって異なります)
配光画角	配光タイプ切り換え（スタンダード配光／均質配光／中央部重点配光） FX/DX 切り換え対応
発光モード	• i-TTL 調光モード • 絞り連動外部自動調光モード • 外部自動調光モード • 距離優先マニュアル発光モード • マニュアル発光モード • リピーティングフラッシュモード
その他の発光機能	テスト発光 / モニター発光 / マルチポイント AF 補助光 / モデリング発光
ニコンクリエイティブライティングシステム	対応カメラと組み合わせると、次の機能が可能。 i-TTL 調光モード / アドバンストワイヤレスライティング /FV ロック撮影 / 発光色温度情報伝達 / オート FP ハイスピードシンクロ撮影 / マルチポイント AF 補助光
増灯撮影機能	• アドバンストワイヤレスライティング撮影 • SU-4 タイプのワイヤレス増灯撮影
カメラ側の設定による撮影機能	**カメラのシンクロモード**：スローシンクロ（スローシャッター）/ 赤目軽減スローシンクロ(スローシャッター) / 先幕シンクロ / 後幕シンクロ / 後幕スローシンクロ（スローシャッター） **撮影機能**：オート FP ハイスピードシンクロ撮影 /FV ロック撮影 / 赤目軽減発光撮影
バウンス角度	垂直方向：上方向 90°～正面～下方向 7° (クリック：下 7° / 正面 /45° /60° /75° /90°) 水平方向：左方向 180°～右方向 180° (クリック：正面 /30° /60° /75° /90° /120° /150° /180°)
電源 ON/OFF	電源スイッチによる切り換え スタンバイ機能設定可能

仕様

使用電池	次の単 3 形電池の同一種類を 4 本 • 1.5V アルカリ単 3 形電池 • 1.5V リチウム単 3 形電池 • 1.2V ニッケル水素単 3 形充電池 使用電池別の最短発光間隔、発光回数は（📖H-20）
レディーライト	充電完了：点灯 光量不足警告（i-TTL 調光モード / 絞り連動外部自動調光モード / 外部自動調光モード / 距離優先マニュアル発光モード時）：点滅
レディーライト（リモートモード時）	充電完了：点滅 光量不足警告（i-TTL 調光モード / 絞り連動外部自動調光モード / 外部自動調光モード /SU-4 タイプの AUTO モード時）：点滅
閃光時間	約　1/880 秒：M 1/1 発光（FULL） 約 1/1100 秒：M 1/2 発光 約 1/2550 秒：M 1/4 発光 約 1/5000 秒：M 1/8 発光 約 1/10000 秒：M 1/16 発光 約 1/20000 秒：M 1/32 発光 約 1/35700 秒：M 1/64 発光 約 1/38500 秒：M 1/128 発光
ロックレバー	ロックプレートおよびロックピンにより、アクセサリーシューからの脱落を防止。
調光補正	＋ 3.0 ～－ 3.0 の範囲で 1/3 段ステップで調光可能。（i-TTL 調光モード / 絞り連動自動調光モード / 外部自動調光モード / 距離優先マニュアル発光モード時）
カスタムメニュー	全 19 項目
その他の機能	ISO 感度設定 /TTL 調光アンダー量再表示 / 初期設定へのリセット / キーロック / 過熱防止 / ファームアップ
寸法（W×H×D）	約 78.5×145×113mm
質量	約 510g（1.5V アルカリ単 3 形電池 ×4 本を含む） 約 420g（本体のみ）
付属品	スピードライトスタンド　AS-21、バウンスアダプター　SW-13H、カラーフィルター　SZ-2FL、カラーフィルター　SZ-2TN、ソフトケース　SS-910

• 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、全て常温（20 ℃）、新品電池使用時のものです。
• 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
• 本書記載の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

調光範囲

（i-TTL 調光／絞り連動外部自動調光／外部自動調光モード共通）

SB-910の調光範囲は0.6m～20mです。調光範囲はフォーマット、配光タイプ、ISO感度、照射角、絞り値によって異なります。

- 次の表はFXフォーマット、スタンダード配光時の調光範囲表です。
- 各設定状態での調光範囲は、表示パネルで確認できます。

FXフォーマット、スタンダード配光時

	ISO 感度								照射角（mm）																	
	12800	6400	3200	1600	800	400	200	100	14BA/WP	14BA	14WP	17	18	20	24	28	35	50	70	85	105	120	135	180	200	
絞り値（F）	4	2.8	2	1.4					2.3～20	2.9～20	3.1～20	3.9～20	4.1～20	4.3～20	4.8～20	5.4～20	6.1～20	7.1～20	7.8～20	8.2～20	8.7～20	9～20	9.1～20	9.2～20	9.4～20	調光距離範囲（m）
	5.6	4	2.8	2	1.4				1.7～20	2～20	2.2～20	2.8～20	2.9～20	3～20	3.4～20	3.8～20	4.3～20	5～20	5.5～20	5.8～20	6.2～20	6.4～20	6.4～20	6.5～20	6.7～20	
	8	5.6	4	2.8	2	1.4			1.2～18	1.5～20	1.6～20	2～20	2.1～20	2.2～20	2.4～20	2.7～20	3.1～20	3.6～20	3.9～20	4.1～20	4.4～20	4.5～20	4.6～20	4.6～20	4.7～20	
	11	8	5.6	4	2.8	2	1.4		0.9～13	1～16	1.1～17	1.4～20	1.5～20	1.5～20	1.7～20	1.9～20	2.2～20	2.5～20	2.8～20	2.9～20	3.1～20	3.2～20	3.2～20	3.3～20	3.4～20	
	16	11	8	5.6	4	2.8	2	1.4	0.6～9.1	0.8～11.3	0.8～12	1～15.5	1.1～16.2	1.1～16.9	1.2～19	1.4～20	1.6～20	1.8～20	2～20	2.1～20	2.2～20	2.3～20	2.3～20	2.3～20	2.4～20	
	22	16	11	8	5.6	4	2.8	2	0.6～6.5	0.6～8	0.6～8.5	0.7～11	0.8～11.5	0.8～12	0.9～13.5	1～15	1.1～17	1.3～20	1.4～20	1.5～20	1.6～20	1.6～20	1.6～20	1.7～20	1.7～20	
	32	22	16	11	8	5.6	4	2.8	0.6～4.5	0.6～5.6	0.6～6	0.6～7.7	0.6～8.1	0.6～8.4	0.6～9.5	0.7～10.6	0.8～12	0.9～14.1	1～15.5	1.1～16.2	1.1～17.3	1.2～17.8	1.2～18	1.2～18.3	1.2～18.7	
		32	22	16	11	8	5.6	4	0.6～3.2	0.6～4	0.6～4.2	0.6～5.5	0.6～5.7	0.6～6	0.6～6.7	0.6～7.5	0.6～8.5	0.7～10	0.7～11	0.8～11.5	0.8～12.2	0.8～12.6	0.8～12.7	0.9～13	0.9～13.2	
			32	22	16	11	8	5.6	0.6～2.2	0.6～2.8	0.6～3	0.6～3.8	0.6～4	0.6～4.2	0.6～4.7	0.6～5.3	0.6～6	0.6～7	0.6～7.7	0.6～8.1	0.6～8.6	0.6～8.9	0.6～9	0.6～9.1	0.6～9.3	
				32	22	16	11	8	0.6～1.6	0.6～2	0.6～2.1	0.6～2.7	0.6～2.8	0.6～3	0.6～3.3	0.6～3.7	0.6～4.2	0.6～5	0.6～5.5	0.6～5.7	0.6～6.1	0.6～6.3	0.6～6.3	0.6～6.5	0.6～6.6	
					32	22	16	11	0.6～1.1	0.6～1.4	0.6～1.5	0.6～1.9	0.6～2	0.6～2.1	0.6～2.3	0.6～2.6	0.6～3	0.6～3.5	0.6～3.8	0.6～4	0.6～4.3	0.6～4.4	0.6～4.5	0.6～4.5	0.6～4.6	
						32	22	16	0.6～0.8	0.6～0.9	0.6～1	0.6～1.3	0.6～1.4	0.6～1.5	0.6～1.6	0.6～1.8	0.6～2.1	0.6～2.5	0.6～2.7	0.6～2.8	0.6～3	0.6～3.1	0.6～3.1	0.6～3.2	0.6～3.3	
							32	22	0.6	0.6～0.7	0.6～0.7	0.6～0.9	0.6～1	0.6～1	0.6～1.1	0.6～1.3	0.6～1.5	0.6～1.7	0.6～1.9	0.6～2	0.6～2.1	0.6～2.2	0.6～2.2	0.6～2.2	0.6～2.3	
								32	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6～0.7	0.6～0.7	0.6～0.8	0.6～0.9	0.6～1	0.6～1.2	0.6～1.3	0.6～1.4	0.6～1.5	0.6～1.5	0.6～1.5	0.6～1.6	0.6～1.6	

- BA：バウンスアダプター装着時
- WP：ワイドパネル使用時

FXフォーマット照射角度表

ズームセット位置	照射角度（°）	
	垂直方向	水平方向
12（BA/WP）＊1	120	130
14（BA/WP）＊2	110	120
17（BA/WP）＊3	100	110
17＊4	77	96
18＊4	74	93
20＊4	69	87
24	60	78
28	53	70
35	45	60
50	34	46
70	26	36
85	23	31
105	20	27
120	18	25
135	17	24
180＊5	15	21
200＊5	14	20

DXフォーマット照射角度表

ズームセット位置	照射角度（°）	
	垂直方向	水平方向
8（BA/WP）＊1	120	130
10（BA/WP）＊2	110	120
11（BA/WP）＊3	100	110
12＊4	74	93
14＊4	66	85
16	60	78
17	57	75
18	55	72
20	50	67
24	44	58
28	39	52
35	32	44
50	25	34
70	20	27
85	17	24
105＊5	16	22
120＊5	15	21
135＊5	14	20
180＊5	13	19
200＊5	13	18

BA：バウンスアダプター装着時
WP：ワイドパネル使用時
＊1　中央部重点配光時
＊2　スタンダード配光時
＊3　均質配光時
＊4　スタンダード配光および中央部重点配光時
＊5　スタンダード配光および均質配光時

ガイドナンバー表

SB-910のガイドナンバーはFX/DXフォーマット、配光タイプ、ISO感度、照射角、発光量によって異なります。

ISO 100・m

照射角（mm）	FX フォーマット			DX フォーマット		
	スタンダード配光	均質配光	中央部重点配光	スタンダード配光	均質配光	中央部重点配光
8（BA+WP）	–	–	–	–	–	13
8（BA）	–	–	–	–	–	16
8（WP）	–	–	–	–	–	17
10（BA+WP）	–	–	–	13	–	–
10（BA）	–	–	–	16	–	–
10（WP）	–	–	–	17	–	–
11（BA+WP）	–	–	–	–	13	–
11（BA）	–	–	–	–	16	–
11（WP）	–	–	–	–	17	–
12（BA+WP）	–	–	13	–	–	–
12（BA）	–	–	16	–	–	–
12（WP）	–	–	17	–	–	–
12	–	–	–	23	–	26
14（BA+WP）	13	–	–	–	–	–
14（BA）	16	–	–	–	–	–
14（WP）	17	–	–	–	–	–
14	–	–	–	25	–	29
16	–	–	–	27	22	32
17（BA+WP）	–	13	–	–	–	–
17（BA）	–	16	–	–	–	–
17（WP）	–	17	–	–	–	–
17	22	–	25	29	23	33
18	23	–	26	30	24	34
20	24	–	27	31	25	36
24	27	22	32	34	32	39
28	30	24	36	36	33	42.5
35	34	31	39	40	37	46
50	40	36	45	45	43	49.5
70	44	41	49	49	47	52
85	46	44	51.5	50.5	49	54.5
105	49	47	52	51.5	50	–
120	50.5	48	53.5	52	51	–
135	51	49	54.5	53	51.5	–
180	52	51	–	53.5	52	–
200	53	51.5	–	54	52.5	–

- BA：バウンスアダプター装着時
- WP：ワイドパネル使用時

FX フォーマット ガイドナンバー表

■ スタンダード配光、ISO 100・m

発光量	照射角（mm）																
	14mm			17	18	20	24	28	35	50	70	85	105	120	135	180	200
	WP＋BA	BA	WP														
1/1	13	16	17	22	23	24	27	30	34	40	44	46	49	50.5	51	52	53
1/2	9.1	11.3	12	15.5	16.2	16.9	19	21.2	24	28.2	31.1	32.5	34.6	35.7	36	36.7	37.4
1/4	6.5	8	8.5	11	11.5	12	13.5	15	17	20	22	23	24.5	25.2	25.5	26	26.5
1/8	4.5	5.6	6	7.7	8.1	8.4	9.5	10.6	12	14.1	15.5	16.2	17.3	17.8	18	18.3	18.7
1/16	3.2	4	4.2	5.5	5.7	6	6.7	7.5	8.5	10	11	11.5	12.2	12.6	12.7	13	13.2
1/32	2.2	2.8	3	3.8	4	4.2	4.7	5.3	6	7	7.7	8.1	8.6	8.9	9	9.1	9.3
1/64	1.6	2	2.1	2.7	2.8	3	3.3	3.7	4.2	5	5.5	5.7	6.1	6.3	6.3	6.5	6.6
1/128	1.1	1.4	1.5	1.9	2	2.1	2.3	2.6	3	3.5	3.8	4	4.3	4.4	4.5	4.5	4.6

DX フォーマット ガイドナンバー表

■ スタンダード配光、ISO 100・m

発光量	照射角（mm）																			
	10mm			12	14	16	17	18	20	24	28	35	50	70	85	105	120	135	180	200
	WP+BA	BA	WP																	
1/1	13	16	17	23	25	27	29	30	31	34	36	40	45	49	50.5	51.5	52	53	53.5	54
1/2	9.1	11.3	12	16.2	17.6	19	20.5	21.2	21.9	24	25.4	28.2	31.8	34.6	35.7	36.4	36.7	37.4	37.8	38.1
1/4	6.5	8	8.5	11.5	12.5	13.5	14.5	15	15.5	17	18	20	22.5	24.5	25.2	25.7	26	26.5	26.7	27
1/8	4.5	5.6	6	8.1	8.8	9.5	10.2	10.6	10.9	12	12.7	14.1	15.9	17.3	17.8	18.2	18.3	18.7	18.9	19
1/16	3.2	4	4.2	5.7	6.2	6.7	7.2	7.5	7.7	8.5	9	10	11.2	12.2	12.6	12.8	13	13.2	13.3	13.5
1/32	2.2	2.8	3	4	4.4	4.7	5.1	5.3	5.4	6	6.3	7	7.9	8.6	8.9	9.1	9.1	9.3	9.4	9.5
1/64	1.6	2	2.1	2.8	3.1	3.3	3.6	3.7	3.8	4.2	4.5	5	5.6	6.1	6.3	6.4	6.5	6.6	6.6	6.7
1/128	1.1	1.4	1.5	2	2.2	2.3	2.5	2.6	2.7	3	3.1	3.5	3.9	4.3	4.4	4.5	4.5	4.6	4.7	4.7

- BA：バウンスアダプター装着時
- WP：ワイドパネル使用時

FP発光時のガイドナンバー表

FXフォーマット、スタンダード配光、ISO 100･m

発光量	照射角（mm）																
	14mm			17	18	20	24	28	35	50	70	85	105	120	135	180	200
	WP＋BA	BA	WP														
1/1	4.7	5.8	6.2	8.1	8.5	8.8	10	11.1	12.6	14.8	16.3	17	18.1	18.7	18.9	19.2	19.6
1/2	3.3	4.1	4.3	5.7	6	6.2	7	7.8	8.9	10.4	11.5	12	12.7	13.2	13.3	13.5	13.8
1/4	2.3	2.9	3.1	4	4.2	4.4	5	5.5	6.3	7.4	8.1	8.5	9	9.3	9.4	9.6	9.8
1/8	1.6	2	2.1	2.8	3	3.1	3.5	3.9	4.4	5.2	5.7	6	6.3	6.6	6.6	6.7	6.9
1/16	1.1	1.4	1.5	2	2.1	2.2	2.5	2.7	3.1	3.7	4	4.2	4.5	4.6	4.7	4.8	4.9
1/32	0.8	1	1	1.4	1.5	1.5	1.7	1.9	2.2	2.6	2.8	3	3.1	3.3	3.3	3.3	3.4
1/64	0.5	0.7	0.7	1	1	1.1	1.2	1.3	1.5	1.8	2	2.1	2.2	2.3	2.3	2.4	2.4
1/128	0.4	0.5	0.5	0.7	0.7	0.7	0.8	0.9	1.1	1.3	1.4	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.7

DXフォーマット、スタンダード配光、ISO 100･m

発光量	照射角（mm）																			
	10mm			12	14	16	17	18	20	24	28	35	50	70	85	105	120	135	180	200
	WP＋BA	BA	WP																	
1/1	4.7	5.8	6.2	8.5	9.2	10	10.7	11.1	11.4	12.6	13.3	14.8	16.6	18.1	18.7	19	19.2	19.6	19.8	20
1/2	3.3	4.1	4.3	6	6.5	7	7.5	7.8	8	8.9	9.4	10.4	11.7	12.7	13.2	13.4	13.5	13.8	14	14.1
1/4	2.3	2.9	3.1	4.2	4.6	5	5.3	5.5	5.7	6.3	6.6	7.4	8.3	9	9.3	9.5	9.6	9.8	9.9	10
1/8	1.6	2	2.1	3	3.2	3.5	3.7	3.9	4	4.4	4.7	5.2	5.8	6.3	6.6	6.7	6.7	6.9	7	7
1/16	1.1	1.4	1.5	2.1	2.3	2.5	2.6	2.7	2.8	3.1	3.3	3.7	4.1	4.5	4.6	4.7	4.8	4.9	4.9	5
1/32	0.8	1	1	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2	2.2	2.3	2.6	2.9	3.1	3.3	3.3	3.3	3.4	3.5	3.5
1/64	0.5	0.7	0.7	1	1.1	1.2	1.3	1.3	1.4	1.5	1.6	1.8	2	2.2	2.3	2.3	2.4	2.4	2.4	2.5
1/128	0.4	0.5	0.5	0.7	0.8	0.8	0.9	0.9	1	1.1	1.1	1.3	1.4	1.5	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7	1.7

- FP発光時のガイドナンバーはシャッタースピード1/500秒、D3カメラ装着時の値です。
- 上記FP発光時のガイドナンバーはシャッタースピードによって変化します。例えばシャッタースピードが1/500から1/1000になるとガイドナンバーは1段小さくなります。つまり高速になるほどガイドナンバーは小さくなります。
- BA：バウンスアダプター装着時
- WP：ワイドパネル使用時

電池別の発光間隔と発光回数

電池	最短発光間隔＊1	発光回数＊2／発光間隔＊1
1.5V アルカリ単 3 形電池	約 4.0 秒	110 回以上 /4.0 〜 30 秒
1.5V リチウム単 3 形電池	約 4.5 秒	230 回以上 /4.5 〜 120 秒
1.2V ニッケル水素単 3 形充電池（2600mAh）	約 2.3 秒	190 回以上 /2.3 〜 30 秒
1.2V ニッケル水素単 3 形充電池（eneloop）	約 2.3 秒	165 回以上 /2.3 〜 30 秒

＊1 発光間隔は、30秒（リチウム電池使用時は120秒）に1回の発光を行ったときのフル発光相当からレディーライト点灯までの時間です。

＊2 発光回数は、30秒（リチウム電池使用時は120秒）に1回の発光を行ったときの、フル発光相当から30秒以内にレディーライトが点灯する回数です。

- AF補助光・ズーム作動・表示パネルのバックライトを使用しない場合の数値です。
- 電池初期での性能です。電池の新旧、および同じ銘柄でも、電池性能の変更等によってデータが異なることがあります。

索引

英数字／五十音順

・各部の名称については「各部の名称」（B-1）をご覧ください。

英数字

ア

カ

使用上のご注意・資料

H

サ

タ

ナ

ハ

マ

ラ

ワ

アフターサービスについて

■ この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

・使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン　カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。

・修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

・お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。

「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。

・ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。

「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。

・ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■ 修理を依頼される場合は

・ニコンサービス機関（裏面に記載の「修理センター」など）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。

・ニコンサービス機関につきましては、詳しくは「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。

■ 補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後7年を目安としています。

・修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

Nikon

製品の使い方に関するお問い合わせ

＜ニコン カスタマーサポートセンター＞

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。

0570-02-8000

一般電話·公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30 ～ 18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。ファクシミリでのご相談は、(03) 5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

＜ニコン ピックアップサービス＞

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け·集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。

※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。

0120-02-8155　営業時間：9:00～18:00（年末年始12/29～1/4を除く毎日）

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)にて承ります。
製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

＜(株)ニコンイメージングジャパン　修理センター＞

230-0052　横浜市鶴見区生麦2-2-26

0570-02-8200

一般電話·公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～17:30（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03) 6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

＜ニコンイメージング／サポートページ＞

- http://www.nikon-image.com/support/
  最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。
  ※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。
- http://www.nikon-image.com/support/repair/
  「ニコン　ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 ニコン
株式会社 ニコン イメージング ジャパン

Printed in Japan

TT1J03(10)
8MSA4410-03